

メトス
コンビケトル

metos

取扱説明書

PROVENO 4G
(業務用)





このたびは、当社のメトス（コンビケトル PROVENO 4G）をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございました。

この商品を安全に正しくご使用いただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつも大切に保管し、必要なときにお読みください。

目次

安全上のご注意	1～7
各部の名称	8～10
本体	8
操作パネル	9・10
待機画面	9
ホーム画面	10
操作手順	11～34
調理を始める前の準備	11～14
食材を調理する	15～21
デルタTを使って加熱調理をおこなう	22・23
「Jacket temperature(スチームジェネレータの温度)」を設定して加熱調理する機能	24・25
「Food temperature(食材の温度)」と「Jacket temperature(スチームジェネレータの温度)」を設定して加熱調理する機能	26・27
食材を冷却する機能	28・29
保存されている調理プログラムを使って調理する	30～32
ケトルを傾けた状態でミキサーツールを回転させる	33・34
調理プログラムについて	35～51
新しい調理プログラムを作成する	35～41
調理プログラムの設定内容の修正	42～45
調理プログラムの削除	46～48
調理プログラムのコピー	49～51
攪拌サイクルの作成	52～55
「  (Favorite pages : お気に入りページ)」	56～64
「  」に「Favorite pages」(お気に入りページ)を作る	56・57
「Favorite pages」(お気に入りページ)のページに調理プログラムのショートカットメニューを入れる	58～60
「Favorite pages」(お気に入りページ)のページの名前を変える	61・62
「Favorite pages」(お気に入りページ)の削除	63・64
お手入れ	65～70
ケトル、ミキサーツールの洗浄	66・67
安全蓋、格子蓋、ステンレス製カバーの洗浄	68・69
外装のお手入れ	70



ユーザー設定	71～79
ユーザー設定画面	71
ユーザー設定の項目	72
スチームジェネレータ内と給水用配管内の水の入替え	73・74
HACCPデータをUSBメモリーにコピーする	75・76
言語の変更	77
日時の変更	78
お知らせ音の音量の設定変更	79
安全弁の動作確認	80～83
「Time to do safety valve test」が表示された場合	80・81
任意でおこなう安全弁の動作確認	82・83
その他の機能	84～95
保存した調理プログラムをUSBメモリーにコピーする	84～86
USBメモリーにコピーした調理プログラムを本機にインストールする	87～89
お知らせ音を変更する	90～92
ログインコードを変更する	93～95
点検	96
浄軟水器カートリッジの交換時期	96
故障の診断と手当	97・98
故障かなと思ったら	97・98
仕様	99・100
付属品	100
保証書(別添付)について/消耗部品/補修用性能部品の保有期間	101

安全上のご注意

ご使用になる前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ正しくお使いください
ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので必ず守ってください




表示と意味は次のようになっています。

注意喚起シンボルとシグナル表示の例

 警告	誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
 注意	誤った取り扱いをすると、人が傷害を負ったり、物的損害*の発生が想定される内容を示します。

*物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を示します。

図記号の例

 感電注意	△は、注意（警告を含む）を示します。 具体的な注意内容は、△の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「感電注意」を示します。
 分解禁止	⊘は、禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、⊘の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「直接手を触れないこと」を示します。
 プラグを抜く	●は、行動の命令（強制）を示します。 具体的な強制内容は、●の中や近くに絵や文章で示します。 左図の場合は「差し込みプラグをコンセントから抜く」を示します。

⚠ 警告



専門業者

据付けは、お買上げ店、または専門業者に依頼すること

ご自分で据付けをされ不備があると、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



アース線接続

アース線を必ず接続すること

アース線は、必ずアース端子に接続してください。
アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアース線に接続しないでください。
アースが不完全な場合は、感電の原因になります。
設備側にアース端子がない場合、電気工事士によるD種接地工事が必要です。電気工事店に依頼してください。



専用電源

本機の電源は、専用の漏電遮断器付サーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に直接接続すること

電源コードは途中で接続したり、延長コードの使用、およびタコ足配線をした場合には、感電や発熱、火災の原因になります。



電気工事

電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」に従って施工し、必ず専用回路を使用すること

電源回路不良、容量不足や施工不備があると、漏電、ショート、感電、火災の原因になります。



禁止

本機の無線LAN機能は、医療用電気機器、産業機器、科学機器や自動ドアなどの自動制御機器が近くにあるところで使用しないこと

無線LANからの電波が影響をあたえることがあり、誤動作の原因になります。
医療機関では無線機器の使用を禁止している場合があります。



専用電源切

本機の電源コードを専用の漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、それと同等の設備に接続前に、漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、設備が『OFF(切)』になっているか確認すること

漏電遮断機付きサーキットブレーカーもしくは、設備が『ON(入)』の状態、電源コードの接続作業をおこなった場合、感電する恐れがあります。



専用電源切

本機の配管、または電源コードの接続をやり直すときは、本機専用電源を『OFF(切)』にし、水道栓を閉めてからおこなうこと

本機専用電源が『ON(入)』になっていたり、水道栓が開いていたりしますと、感電や漏水の原因になります。



屋外禁止

屋外で使用しないこと

雨水のかかる場所で使用されると、漏電、ショート、感電の原因になります。



湿気禁止

湿気の多いところや、水などがかかり易いところに据え付けないこと

本体や電源コードに水などがかかりますと、絶縁低下から漏電、ショート、感電の原因になります。



水掛け禁止

ケトル内以外には直接水をかけないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。

⚠ 警告



電源コードを傷つけないこと

加工したり、引っ張ったり、たばねたり、また重いものを乗せたり、挟み込んだりすると、電源コードが破損し、感電、火災の原因になります。



電源コードや電源プラグ(電源プラグ使用の場合)が破損している場合は使用しないこと

そのまま使用しますと、ショート、感電、火災の原因になります。



点検清掃

電源プラグを使用している場合は、刃および刃の取付面にほこりが付着していないか定期的に電源プラグを抜いて確認し、確実に根元まで差し込むこと

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は、ショート、感電、火災の原因になります。



連絡

漏電遮断器、またはサーキットブレーカーが『OFF(切)』に作動した場合には、お買上げ店に連絡すること

無理にレバーを『ON(入)』にすると、ショート、感電、火災の原因になります。



接触禁止

機械内部の電気装置や配線にさわらないこと

電気装置や配線に触れると、感電する恐れがあります。



接触禁止

使用中は、安全蓋、ステンレス製カバー、格子蓋が高温になるので、取手やリフティングアーム以外触らないこと

高温になっている部分に触れると、やけどの原因になります。



濡手禁止

濡れた手で電源プラグなど(電源プラグ使用の場合)の電気部品に触れたり、メイン電源スイッチを操作したりしないこと

漏電、ショート、感電の原因になります。



専用電源切

異常時は、メイン電源スイッチを「OFF(切)」にして、電源プラグを抜く(電源プラグ使用の場合)か、本機専用電源を「OFF(切)」にして、すぐにお買上げ店へ連絡すること

異常のまま使用を続けると、ショート、感電、火災の原因になります。



禁止

ガス器具などからガスが漏れていたら、本機を使用しないこと

本機の操作スイッチを押したり、電源プラグを抜いたり(電源プラグ使用の場合)すると、引火爆発し危険です。



徐々に開ける

安全蓋、ステンレス製カバーを開けるときは、一気に開けずに徐々に開けること

熱気や蒸気がかかると、やけどの原因になります。



素手禁止

調理完了直後のケトル内、ミキサーツール、安全蓋、ステンレス製カバー、格子蓋の金属部分は、素手で触らないこと

調理完了直後のケトル内、ミキサーツール、安全蓋、ステンレス製カバー、格子蓋の金属部分は、高温になっているため、素手で触るとやけどします。

⚠ 警告



禁止

操作パネル部は、先の尖ったものや、硬いもので押さないこと
操作パネル部を破損しますと、感電や漏電の原因になります。



禁止

本機から取り外したミキサーツールや安全蓋、ストレーナープレートは、落とさないこと
落とした場合、ケガの原因になります。



しっかり持つ

安全蓋の取り外しは、片手でリフティングアームをしっかりとった状態でおこなうこと
片手でリフティングアームを持っていないと、安全蓋が外れた際、リフティングアームが勢いよく上がるため、ケガの原因になります。



確認

安全蓋を取り外し、取り付け後は、安全蓋がリードアームにしっかりと固定されているのを確認すること
安全蓋が外れて落下した場合、ケガの原因になります。



ひと近づけない

加熱調理中は、本機の後ろ側にひとを近づけないこと

加熱調理中、通常はスチームジェネレータ内の圧力は、ヒーターの温度制御や圧力スイッチにより、あがり過ぎないようにしています。
何かしらの理由で、スチームジェネレータ内の圧力があがりすぎの状態になった場合、自動で安全弁を開いて、多量の蒸気を勢いよく排出します。
排出される蒸気は、高温のため、ひとにかかると、やけどする恐れがあります。



ひと近づけない

安全弁の動作確認をするときは、本機の後ろ側にひとを近づかせないこと

安全弁が開くと、多量の蒸気が勢いよく排出されます。
排出される蒸気は、高温のため、ひとにかかると、やけどする恐れがあります。



禁止

修理技術者以外の方は絶対に分解したり、修理したりしないこと

修理に不備があると、ショート、感電、火災などの原因になります。



改造禁止

改造は絶対におこなわないこと

改造をされると、ショート、感電、火災の原因になります。
庫内や機械内部からの水漏れの原因にもなります。



専門業者

移設は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

電気の配線に不備があると、感電、火災の原因になります。
給水や排水の配管に不備があると、周囲を濡らす原因になります。



専門業者

廃棄は専門業者か、お買上げ店に依頼すること

放置しますと、子供などがケガをする原因になります。

⚠ 注意



水平据付

丈夫で平らなところに水平になるように据え付けること

据え付ける場所が、ガタついたり、かたむいていたりしますと転倒、落下によるケガなどの原因になります。



フード設備

本機の上にフード(ダクト)を設備し、機械から出る蒸気や熱風を排気すること

フード(ダクト)を設備しないと、蒸気や熱風が部屋内にこもり、部屋の天井や壁を痛める原因になります。



飲料水用

給水に使用する水は、必ず飲料用の水を使用すること

飲料水以外の水を使用しますと、健康障害の原因になります。



防水処置

食材や水などをこぼしてもよい所に据え付けること

ケトル内の食材を取り出す際に食材がこぼれたり、ケトル内の洗浄の際にハンドシャワーから出た水やケトル内からあふれ出た水などが床面などを濡らします。濡れると不都合な所には、据え付けないでください。



禁止

本機の上に重量物や、水を入れた容器を置かないこと

落下した場合、ケガの原因になります。
水がこぼれて機械内部に入った場合、漏電、ショート、感電の原因になります。



禁止

電源プラグを使用の場合、電源プラグを抜くときは、電源コードを持って抜かないこと

必ず電源プラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、電源プラグ内部でコードに傷がつき、ショート、感電、火災の原因になります。



熱器具禁止

熱器具を乗せたり、熱器具を周囲に置いたりしないこと

熱で樹脂部品が変形したり、破損したりした場合、ケガの原因になります。



排水点検

始業時に、排水ホースに詰まりがないか、点検をおこなうこと

排水ホースが詰まると、排水がスムーズにおこなわれず、庫内から水などがあふれ出た場合、周囲を濡らす原因になります。



挿入禁止

ミキサーツールが回転しているときは、ケトル内に、箸、オタマなどの調理器具を入れないこと

ケガの原因になります。
ミキサーツールや箸、オタマなどの調理器具が破損し、食材などに入った場合、異物混入の原因になります。



確認

ケトルをチルティングする前に、ケトルの前後にひとがいないことを確認すること

ケトルが接触した場合、ケガの原因になります。
取り出した食材がかかった場合、やけどの原因になります。



水道栓閉

本機から水が漏れている場合は、メイン電源スイッチを「OFF(切)」にして、本機専用電源を『OFF(切)』にし、水道の元栓を閉めてお買上げ店に連絡すること

水漏れにより、周囲を濡らす原因になります。
漏れた水が機械内部の電気部品にかかった場合、漏電、ショート、感電の原因になります。

⚠ 注意



水道栓閉

作業終了後は、水道の元栓を閉めておくこと

配管部分やハンドシャワーのホース部分が破損などにより、水漏れが発生した場合、周囲を濡らす原因になります。
漏れた水が機械内部に入った場合、漏電、ショート、感電の原因になります。



開放禁止

終業後は、安全蓋、格子蓋、ステンレス製カバーを開けたままにしないこと

ネズミや虫などが入り込みますと、異物混入や健康障害の原因になります。



挟まない

安全蓋を閉めるときは、手や指などを挟まないこと

ケガの原因になります。



可燃物禁止

可燃性のスプレーを近くで使用したり、可燃物を置いたりしないこと

本機のメイン電源スイッチを「ON(入)」にしたり、電源プラグを抜いたり(電源プラグ使用の場合)すると、発火の原因になります。



禁止

本機の上に乗ったりしないこと

転倒、または落下した場合、ケガの原因になります。



除菌洗浄

ケトル内、ミキサーツール、安全蓋、格子蓋、ステンレス製カバーの使用後は、必ず除菌洗浄剤で洗浄、清掃すること

除菌洗浄しないと、付着した食材が腐敗し、雑菌が繁殖して健康障害の原因になります。



専用電源切

ケトル内のお手入れのときや、本機の点検のときは、必ずメイン電源スイッチを「OFF(切)」にして、電源プラグを抜く(電源プラグ使用の場合)か、本機専用電源を「OFF(切)」にすること

誤って操作部に触れた場合、ケガややけどの原因になります。
漏電、ショート、感電の原因にもなります。



冷めるまで待つ

お手入れのときや、点検のときは、ケトル内が触ることができる温度まで冷めるのを待つこと

熱い状態で触れた場合、やけどの原因になります。



接触禁止

ケトル内が熱い状態のときは、ミキサーツールやケトル内に直接触れないこと

ケトル内やミキサーツールに触れた場合、やけどの原因になります。



洗い流す

洗剤を使ったあとは、洗剤成分を十分に洗い流すこと

洗剤成分が残っていると、健康障害の原因になります。



禁止

付属の「FMI除菌洗浄剤」は、口に入れたり、飲み込んだりしないこと

健康障害の原因になります。

⚠ 注意



洗淨剤保管

付属の「FMI除菌洗淨剤」は、子供の手の届かない所に保管すること
誤って口に入れたり、飲み込まれますと、健康障害の原因になります。



洗淨剤保管

付属の「FMI除菌洗淨剤」を取り扱うときは、ゴム手袋を着用すること
素手で取り扱うと、手荒れの原因になります。



専用電源切

ご使用後は、安全のため電源スイッチが「OFF(切)」にして、電源プラグを抜く(電源プラグ使用の場合)か、本機専用電源を「OFF(切)」にすること

電源プラグやコンセント部にほこりが溜まって発熱、発火の原因になります。



動作点検

漏電遮断器は月に1回動作確認すること

漏電遮断器を故障のまま使用すると、漏電のとき動作せず、感電の原因になります。



テープ止め

このお使いになっている商品を転売や、譲渡される際には、新しく所有者となる方が安全な正しい使いかたを知るために、この取扱説明書を商品本体の目立つ所にテープ止めすること

お願い

本製品は、調理以外の目的に使用しないでください。

ケトル内には、化学反応を起こす物質や腐食性のあるものは入れないでください。

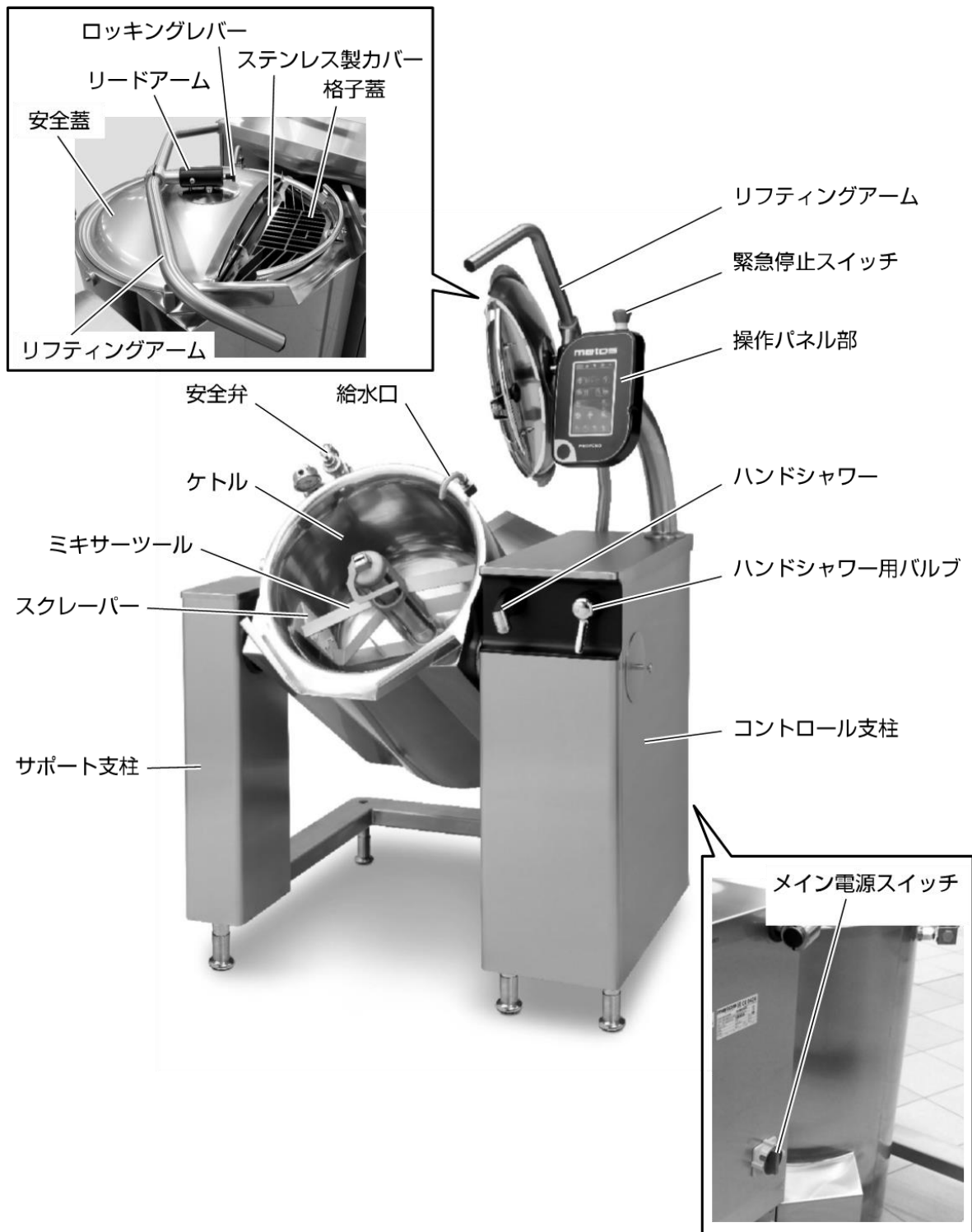
塩、酢酸、レモン、乳酸等の添加物を長期間入れたままにしないでください。
腐食の原因になります。

ケトルを傾けるときは、ケトルの周囲に障害物がないことを確認してから、傾けてください。
ケトルを傾げるときに障害物に接触すると故障の原因になります。

各部の名称

本機は、電気ヒーターでスチームジェネレータ内に蒸気を作り、その蒸気の熱を使用して加熱します。スチームジェネレータは、ケトル胴体の全体(一番上まで)を覆っています。

本体



操作パネル部

待機画面



① 『🏠』アイコン

長押しすると、待機画面の状態でもロックがかかります。
もう一度、長押しすると、ロックは解除されます。

② 『🔒』アイコン

タップすると、ホーム画面に切り替わります。
調理中の場合は、調理中の動作画面が表示されます。

③ 『❓』アイコン

待機画面についての説明(工場出荷時は英語)が表示されます。

メモ

本機は、操作パネル部上部に緊急停止スイッチを装備しています。

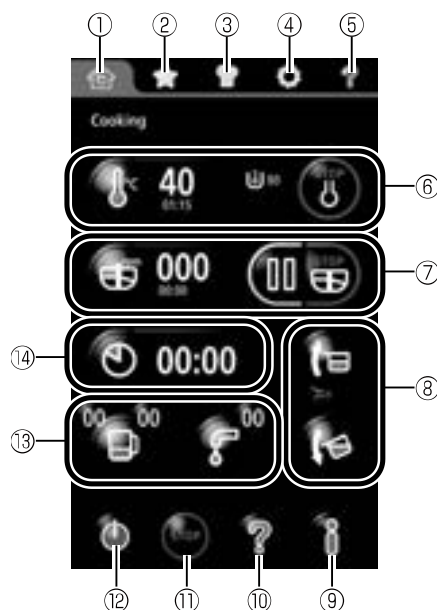
緊急で本機を停止する必要がある場合は、即座にこの緊急停止スイッチを押してください。










緊急停止スイッチを押すと、全機能が停止します。

緊急停止状態を解除するには、緊急停止ボタンを上から見て時計方向に回すと、ボタンが元の位置に戻り、使用可能状態になります。



ホーム画面



- ① 『』 アイコン
ホーム画面に戻ります。
- ② 『』 アイコン
お気に入りとして保存した調理プログラムの一覧が表示されます。
- ③ 『』 アイコン
保存された調理プログラムの一覧が表示されます。
- ④ 『』 アイコン
ユーザー設定にはいることができます。
日時、言語、お知らせ音の音量などの設定を変更することができます。
安全弁の動作確認や、攪拌プログラムの設定などをおこなうこともできます。
- ⑤ 『』 アイコン
本機の操作についての説明(工場出荷時は英語)が表示されます。
- ⑥ 調理温度の設定
調理温度の設定をおこなうことができます。
- ⑦ 攪拌の設定
攪拌の設定をおこなうことができます。
- ⑧ チルティング
ケトルを傾けることができます。
- ⑨ 『』 アイコン
時計が表示されます。
- ⑩ 『』 アイコン
⑤と同様になります。
- ⑪ 『』 アイコン
調理中、または動作中にタップすると全ての動作を停止します。
- ⑫ 『』 アイコン
長押しすると待機画面に変わります。
- ⑬ 給水
ケトル内に水を入れます。
給水量(単位:L)を入力して給水する「自動給水」と、目視、または画面に表示される給水された量を確認しながらおこなう「手動給水」があります。
- ⑭ タイマーの設定
調理時間を設定することができます。

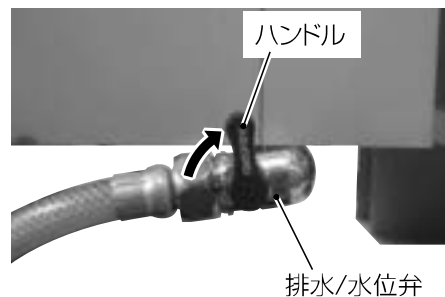
操作手順

調理を始める前の準備

1. スチームジェネレータの排出/水位弁を閉めてください

ケトル前面の右下にあるスチームジェネレータの排出/水位弁を閉めてください。

スチームジェネレータの排出/水位弁のハンドルをタテ方向に回すと弁が閉まります。



2. 水道栓を開けてください

3. 本機専用電源を『ON(入)』にしてください

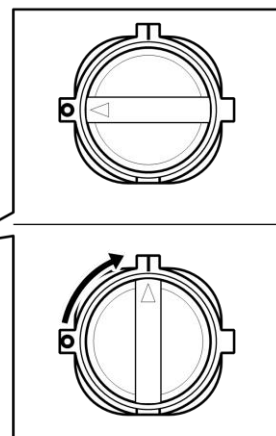
4. 本機のメイン電源スイッチをONにしてください

本機の背面にある電源スイッチをON(「I」の位置)にしてください。

約7秒後、操作部(タッチパネル)に「METOS」のロゴを表示し、その約38秒後に待機画面が表示されます。

メモ

前回、メイン電源スイッチがONの状態
で、本機専用電源を『OFF(切)』にしている場合、本機専用電源を『ON(入)』にすると本機のメイン電源スイッチをONにしなくても電源が入ります。



5. ケトル内を洗淨してください

ご使用前にケトル内を洗淨してください。

洗淨方法については「お手入れ」(65ページ)を参照してください。

6. スクレーパーを取付けたミキサーツールを、ケトル内に取り付けてください

ミキサーツール側のピンに、スクレーパーの穴をはめ込み、各スクレーパーを取り付けてください。



取り付けたスクレーパーの下部を持ち上げてください。
スクレーパーを前に引っ張ってください。

下部スクレーパーのときは上を向いている状態
になり、横のスクレーパーはミキサーツールから
少し浮いた状態になります。




ミキサーツールに取り付けるスクレーパーの数は、機種により異なります。

スクレーパーの数は下記表を参照してください。

スクレーパー	40L	60L	80L	100L	150L	200L
A2	—	1枚	1枚	2枚	1枚	2枚
B2	—	—	1枚	1枚	1枚	1枚
C2	1枚	1枚	—	—	1枚	1枚

ケトルのリフティングアームを持ち上げて、安全蓋を開けてください。

チルティングの『』アイコンを押して、ケトルを約90° 傾けてください。

アイコンを押している間、ケトルは傾く動作をおこないます。
アイコンから指を放すと動作が止まります。



ミキサーツールをケトル内のミキサー軸に取り付けてください。
ミキサーツールの持ち上げハンドルを持ち、もう一方の手でミキサーツールの本体部分を持って、ミキサー軸に対して真っ直ぐに取り付けて、奥まで押し込んでください。
ミキサーツールの先端の四角穴に、ミキサー軸先端部分（四角）を確実にはめ込んでください。




ミキサーツールの持ち上げハンドルを倒してください。

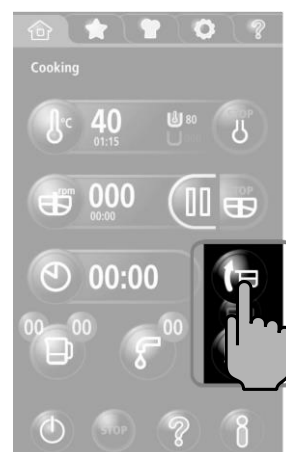


ミキサーツールが固定され、抜けないことを確認してください。



チルティングの『』アイコンを操作してケトルを垂直に戻してください。

自動でスチームジェネレータ（蒸気発生器）内に水が入ります。



水位弁から出ている水が止まったら、スチームジェネレータの排出/水位弁のハンドルを横に向けて弁を閉じてください。

調理の準備は完了です。

食材を調理する

ここでは、調理手順について説明します。

1. 食材をケトルに入れてください

安全蓋を開け、食材をケトル内に入れてください。



調理中でも、食材をケトルに入れることは可能です。

調理中は、安全蓋を開けるとミキサーツールの回転が止まりますので、安全に食材をケトル内に入れることができます。


2. お好みにケトル内に水を入れてください

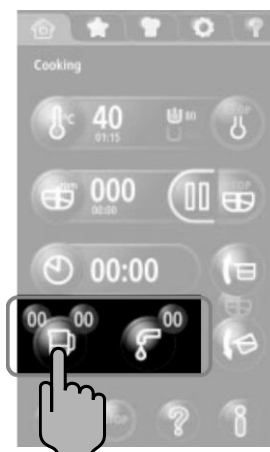
ケトル内に水を入れる方法は、「自動給水」と、「手動給水」の2種類があり、それぞれの給水方法は以下のとおりになります。

「自動給水」：給水量（単位：L）を入力して給水をおこないます。

「手動給水」：目視、または画面に表示される給水された量を確認して、手動で止めます。

「自動給水」を使って給水をおこなう場合：

『（自動給水）』アイコンをタップしてください。
設定の入力画面が表示されます。



お好みの給水量を入力して、『（決定）』アイコンをタップしてください。

ケトル内への給水が開始されます。



画面には、設定した給水量「」と、現在給水された量「」が表示されます。



給水を途中で止める場合、『』アイコンをタップ、または『』アイコンをタップして給水を止めてください。

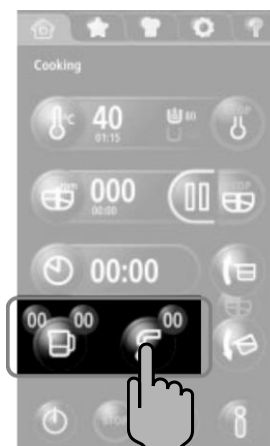


設定した給水量に到達すると、給水が止まります。

「手動給水」を使って給水をおこなう場合：

『（手動給水）』アイコンをタップしてください。
ケトル内への給水が開始されます。
画面には、現在給水された量「11」が表示されます。


お好みの量になりましたら、もう一度『』アイコンをタップ、
または『』アイコンをタップして給水を止めてください。



3. 安全蓋を閉めてください

格子蓋、ステンレス製カバーを閉めてください。


4. 調理温度を設定して調理をおこなってください

『（温度設定）』アイコンをタップしてください。
設定の入力画面が表示されます。




お好みの温度を入力してください。



お好みで『』を操作して、熱量を調整してください。
 熱量を高く設定した場合：食材を急速に加熱します。
 熱量を低く設定した場合：食材をゆっくり加熱し、熱によるダメージを抑えることができます。




『 (決定)』アイコンをタップしてください。
 ケトル内の加熱が始まります。

5. お好みで攪拌を設定してください

攪拌を設定していなくても調理をおこなうことができます。


メモ

攪拌は、安全蓋を閉めてからおこなってください。
 安全蓋が閉まっていないと、攪拌の操作を受け付けません。

『 (ミキサー)』アイコンをタップしてください。
 攪拌の設定画面が表示されます。

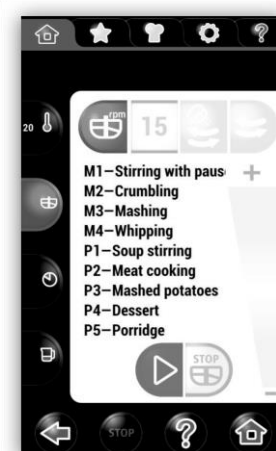




攪拌速度の設定方法は、2種類あります。


攪拌のメニューから適した回転数 (r.p.m.) を選択して攪拌を開始
 攪拌のメニューを選択して、『』アイコンをタップすると攪拌が始まります。

スライダーを操作してお好みの回転数 (r.p.m.) に変更して攪拌を開始


画面右側のスライダーを操作する、または「+」や「-」をタップすると攪拌が始まります。
 回転数 (r.p.m.) を変更すると、機械はゆっくり回転数 (r.p.m.) が変わります。



攪拌が始まると、『』アイコンは『』アイコンに切り替わります。

攪拌を1時停止する場合は『』アイコンをタップしてください。
食材や調味料などを追加投入する際にご使用ください。

お願い


安全蓋を開けて攪拌を止める操作はおこなわないでください。
本機故障の原因になります。
『』アイコンなどで攪拌を止めてから安全蓋を開けるようにしてください。


攪拌の回転方向について

通常の攪拌は時計回り（正転）です。

『』アイコンをタップすると、アイコンは『』に変わり、攪拌は正転（時計回り）と逆転（反時計回り）を交互に繰り返します。

時計回り（正転）に戻す場合は、『』アイコンをタップしてください。


『』アイコンを押している間、攪拌は逆転（反時計回り）になります。
アイコンから指を離すと、時計回り（正転）に戻ります。

攪拌を停止する場合は『』アイコンをタップしてください。

6. お好みにタイマーを設定してください


タイマーを設定しますと、設定した時間を経過すると、お知らせ音と、画面へのメッセージの表示でお知らせします。

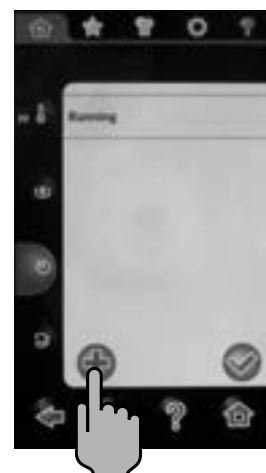
本機は、タイマーを設定していなくても調理をおこなうことができます。

『』（タイマー）』アイコンをタップしてください。

タイマー確認画面が表示されます。




『 (追加)』アイコンをタップしてください。
タイマーの設定画面が表示されます。



時間を入力してください。

h (時)、min (分)、s (秒) を設定してください。

『』アイコンをタップして確定すると、1つ前の画面に戻り、タイマーのカウントダウンが始まります。

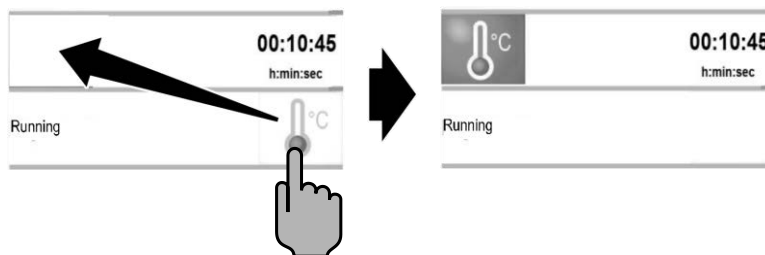


カウントが「0」になると、お知らせ音と「Timer expired!」のメッセージ表示でお知らせします。

タイマーを設定していた機能は停止します。

メモ

タイマーのカウントダウンが表示されている枠に、「Running」の枠に表示されている『加熱』アイコン、または『攪拌』アイコンを指でドラッグして入れると、機能のタイマー設定ができ、カウントが「0」になったら、その機能を停止し、お知らせ音とメッセージ表示でお知らせします。



タイマー設定は、複数件設定することができます。



1つのタイマー設定に、『加熱』と『攪拌』など、複数の機能を設定することも可能です。



7. できあがった食材をケトル内から取り出してください

調理が完了しましたら『STOP』アイコンをタップして全ての動作を止めてください。

ケトルの前に食材を入れる容器を置いてください。

ケトルの前後に人がいないこと、障害物がないことを確認してください。

リフティングアームを持ち上げて、安全蓋を開けてください。

『傾』アイコンを長押しして、ケトルを傾けてください。

『傾』アイコンを押している間、ケトルが傾く動作をおこないます。

アイコンから指を放すと動作が止まります。

ケトルは、食材を入れる容器からこぼれ出たり、跳ね出したりしないようにゆっくり傾けてください。食材を入れる容器を転倒させないようにしてください。

メモ

『傾』アイコンから指を離すと、ケトルが少し戻ります。

この動作は、食材のしずくが垂れるのを防ぐためのものです。

食材の状態によっては、ケトル内で片寄ったり、ミキサーツールに引っ掛かったりして取り出しにくい場合があります。

本機は、ケトルを傾けた状態でも攪拌（低速回転）をおこなうことができる機能があり、ケトルから食材を取り出す際に使うと、より取り出しやすくなります。

この機能については、「ケトルを傾けた状態でミキサーツールを回転させる」（33ページ）を参照してください。

ケトル内から食材を取り出した後は、ケトルのお手入れをおこなってください。

お手入れの方法については、「お手入れ」（65ページ）を参照してください。

警告



安全蓋、ステンレス製カバーを開けるときは、一気に開けずに徐々に開けること
熱気や蒸気がかかりますと、やけどの原因になります。



調理完了直後のケトル内、ミキサーツール、安全蓋、ステンレス製カバー、格子蓋の金属部分
は、素手で触らないこと
調理完了直後のケトル内、ミキサーツール、安全蓋、ステンレス製カバー、格子蓋の金属部分
は、高温になっているため、素手で触るとやけどします。

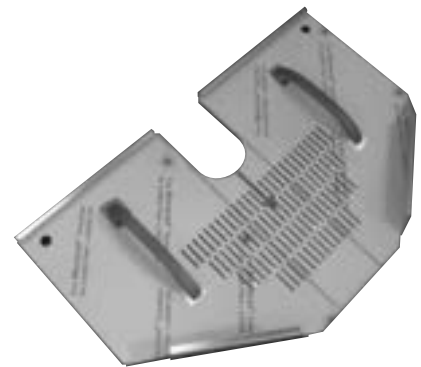
メモ

付属のストレーナープレートをお使いいただくと、調理した食材から液体を取り出すことができます。

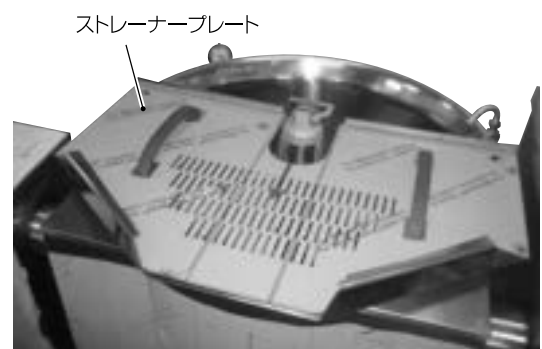
例えば、

野菜などを湯がいた場合、熱湯を排出できます。

スープや出汁などを作った際に液体分だけを取り出すこともできます。



使い方は、安全蓋を開けて、ケトルの上にストレーナープレートを取付けてください。チルティングをおこなうと、ストレーナープレートの穴から液体分が出てきます。

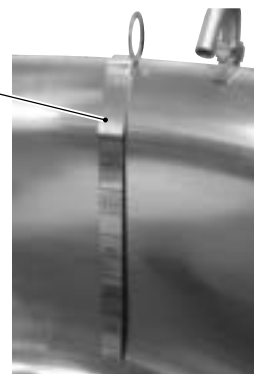


付属の測定棒をお使いいただくと、ケトル内に入っている食材のだいたいの容量(L)を確認することができます。

使い方は、測定棒の目盛りがあるほうを内側にして、ケトルの縁に取付けてください。



測定棒



デルタTを使って加熱調理をおこなう

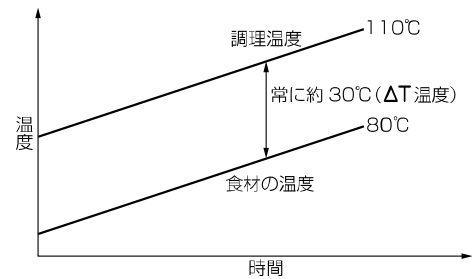
ここでは、デルタTを使う設定方法について説明します。

メモ

デルタTとは、調理中の食材の温度と、スチームジャケットの温度の差を一定に保たせながら加熱調理する機能です。


例えば、「Food temperature (食材の温度)」を80°Cに設定し、「Temperature difference (ΔT 温度)」を30°Cに設定すると、調理中、食材の温度を80°Cに昇温する間、食材の温度に対してプラス約30°Cでスチームジャケット内を昇温するよう自動的にコントロールする機能です。

この機能を使用すると、長時間の煮込み料理に適している調理方法です。



1. 『 (温度設定)』アイコンをタップしてください
設定の入力画面が表示されます。



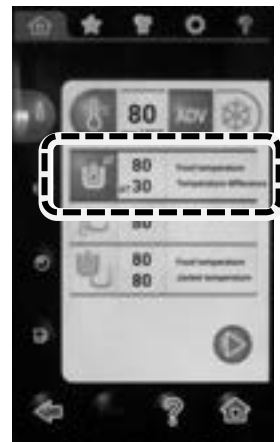
2. 『』アイコンをタップしてください
選択画面が表示されます。




3. 「Food temperature (食材の温度)」と「Temperature difference (ΔT 温度)」の温度を設定してください

「Food temperature (食材の温度)」、または「Temperature difference (ΔT 温度)」をタップすると、温度の入力画面が表示されます。

「Food temperature (食材の温度)」と「Temperature difference (ΔT 温度)」の温度を設定してください。




「Food temperature (食材の温度)」 「Temperature difference (ΔT 温度)」

温度を入力した後は、『 (決定)』アイコンをタップして確定してください。

4. 『』アイコンをタップしてください

デルタTによる加熱調理が開始されます。

調理を止める場合は、『』アイコンをタップしてください。

「Jacket temperature(スチームジャケットの温度)」を設定して加熱調理する機能

この機能は、イースト生地を発酵させたり、チョコレートを溶かしたりするのに適しています。

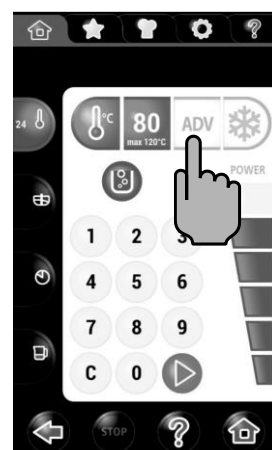
1. 『 (温度設定)』アイコンをタップしてください

設定の入力画面が表示されます。



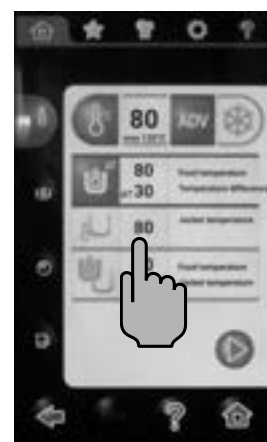
2. 『ADV』アイコンをタップしてください

選択画面が表示されます。



3. 「Jacket temperature (スチームジャケットの温度)」をタップしてください

温度の設定画面が表示されます。



温度を設定してください。


温度を設定した後は、『 (決定)』アイコンをタップして確定してください。

1つ前の画面に戻ります。



4. 『』アイコンをタップしてください

スチームジャケットの加熱が開始されます。


調理を止める場合は、『』アイコンをタップしてください。

「Food temperature(食材の温度)」と「Jacket Temperature (スチームジャケットの温度)」を設定して加熱調理する機能

この機能は、低温調理やおかゆの調理に適しています。

1. 『 (温度設定)』アイコンをタップしてください
設定の入力画面が表示されます。



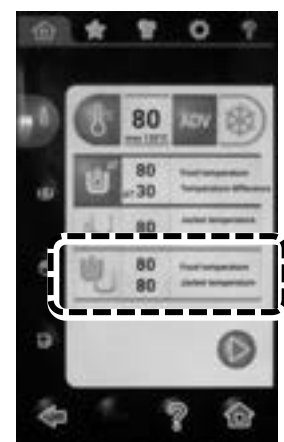
2. 『 ADV』アイコンをタップしてください
選択画面が表示されます。



3. 「Food temperature (食材の温度)」と「Jacket temperature (スチームジャケットの温度)」の温度を設定してください

「Food temperature (食材の温度)」、または「Jacket Temperature (スチームジャケットの温度)」をタップすると、温度の入力画面が表示されます。

「Food temperature (食材の温度)」と「Jacket Temperature (スチームジャケットの温度)」の温度を設定してください。






「Food temperature (食材の温度)」 「Jacket difference (ΔT温度)」

温度を入力した後は、『 (決定)』アイコンをタップして確定してください。

4. 『』アイコンをタップしてください

加熱が開始されます。

調理を止める場合は、『』アイコンをタップしてください。

食材を冷却する機能

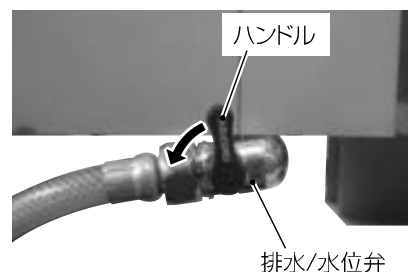
この機能は、スチームジャケット内に水を流し入れて、水の温度でケトル内の食材を冷却します。使用する水は水道水を使うため、水道水より低い温度に下げることができません。

冷却中は、排水/水位弁からジャケット内の水が排出されます。

1. スチームジェネレータの排出/水位弁を開けてください

ケトル前面の右下にあるスチームジェネレータの排出/水位弁を開けてください。

スチームジェネレータの排出/水位弁のハンドルを横方向に回すと弁が開きます。



2. 『🌡️ (温度設定)』アイコンをタップしてください

設定の入力画面が表示されます。



3. 『❄️』アイコンをタップしてください

設定の入力画面が表示されます。



4. 温度を設定してください

入力する温度は、水道水の温度を考慮して温度を入力してください。

食材を水道水と同じ温度まで下げる場合は、水道水の温度の-2℃位を目安に温度を入力してください。

『❄️』アイコン、または『🌡️』アイコンをタップしてください。

『❄️』アイコンをタップした場合：

食材が設定した温度になると、保温状態になります。

『🌡️』アイコンをタップした場合：

食材が設定した温度になると、冷却動作を停止します。



5. 『▶』アイコンをタップしてください

排水の確認画面が表示されます。

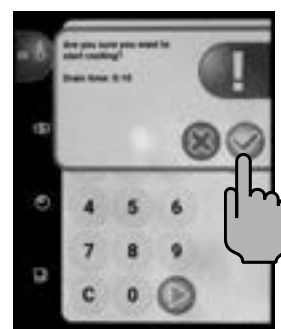


『✔ (決定)』アイコンをタップしてください。

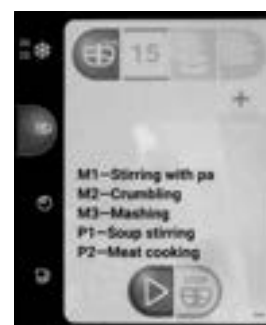
冷却が開始され、攪拌の設定画面が表示されます。

お好みで攪拌を設定してください。

攪拌は表示されるプリセット攪拌サイクルから選択してタップしてください。

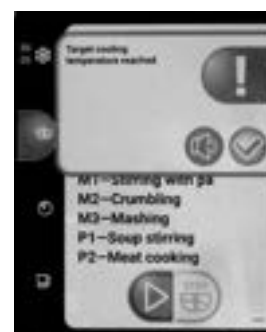


途中で調理を止める場合は、『⏻』アイコンをタップしてください。



スチームジャケット内の温度が設定した温度まで下がると右のような画面が表示されます。

冷却を止める場合は、『✔』アイコンをタップしてください。



保存されている調理プログラムを使って調理する

ここでは、本機に保存されている調理プログラムを使って調理をおこなう方法について説明します。
新しく調理プログラムを作る方法については、「新しい調理プログラムを作成する」(35ページ)を参照してください。
よく使う調理プログラムは、あらかじめ保存しておくことで、調理のたびに温度や攪拌速度、時間、フェーズなどの設定をする手間を省くことができます。

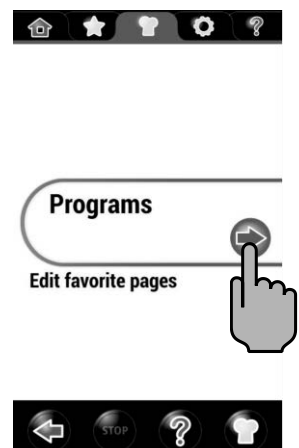
1. 『👤』アイコンをタップしてください

選択画面が表示されます。



2. 「Programs」の『➡』アイコンをタップしてください

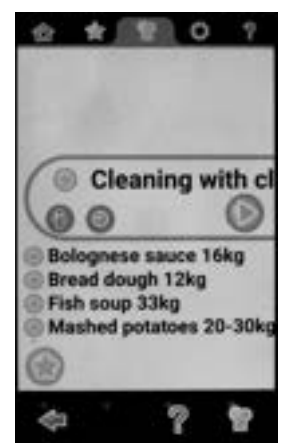
プログラムの選択画面が表示されます。



3. 調理プログラムを使って調理を開始してください


プログラム名の一覧から使用する調理プログラムをタップし、『▶』アイコンをタップしてください。


調理が開始されます。

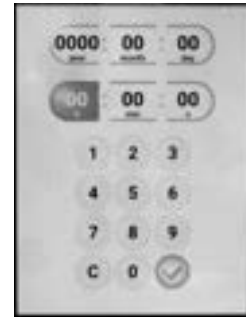


メモ

「Cleaning with cleaning tool」は、お手入れ用のプログラムになります。

『』アイコンをタップすると、調理プログラムの開始日時を設定する画面が表示されます。


日時（年、月、日、時、分、秒）を入力して、『』アイコンをタップすると、設定が確定され、日時までの時間をカウントダウンする画面が表示されます。




設定した日時になると調理プログラムが開始されます。



調理中は、右のような画面が表示されます。

『』は、現在のフェーズを表しています。

右のように「1/6」と表示されている場合は、6フェーズある調理プログラム中の1フェーズ目であることを表しています。

『』アイコンをタップすると、強制的に次のフェーズにスキップすることができます。




フェーズが終了するとお知らせ音が鳴り、画面にメッセージが表示されます。

メッセージに従って操作、食材の投入などをおこなってください。


例えば、右のように画面にメッセージが表示の場合は


「Preheating ready」 「予熱が開始されます」

「add minced meat」 「ミンチ肉を投入してください」

『』アイコンをタップすると、お知らせ音が止まります。



『+0.01 』アイコンをタップするとフェーズの調理が1分間延長されます。

『+0.05 』アイコンをタップするとフェーズの調理が5分間延長されます。

食材や調味料などを投入後は、『▶』アイコンをタップしてください。
次のフェーズを開始します。

調理プログラムのフェーズが一通り終了するまで、この作業をおこなってください。

調理が完了するとお知らせ音が鳴り、画面に「Program Completed」メッセージが表示されます。

『🔊』アイコンをタップすると、お知らせ音が止まります。

『✔️』アイコンをタップして終了してください。

『STOP』アイコンをタップすると、強制的に全ての動作を終了します。



4. できあがった食材をケトル内から取り出してください

ケトルを傾けた状態でミキサーツールを回転させる


本機は、ケトルを傾けた状態でミキサーツールを回転（低速：15r.p.m.）させることができます。この機能を使用すると、食材の量が少ない場合でも、均等に攪拌することができます。


ケトル内の食材を取り出す際にこの機能を使用すると、ケトル内側、ミキサーツールに付着した食材を取り出ししやすくなります。

ここでは、ケトルを傾けた状態でミキサーツールを回転させる方法について説明します。

1. 安全蓋を開けてください

2. ケトルを傾けてください

『』アイコンを長押しして、ケトルを任意の角度まで傾けてください。

ケトルが傾くと『』アイコンが濃く表示されます。



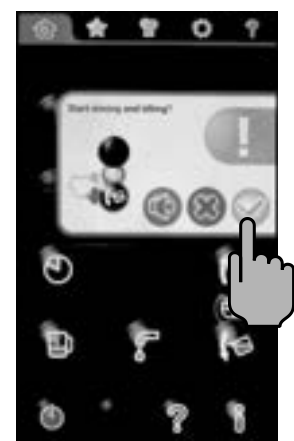
3. 『』アイコンをタップしてください

動作開始確認の画面が表示されます。





4. 『』アイコンをタップしてください

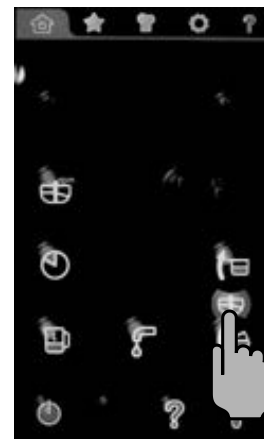
『』アイコンが青色の表示に変わります。



5. 『』アイコンを長押ししてください




『』アイコンを押している間、ミキサーツールが回転（低速：15r.p.m.）します。

途中で止める場合は、『』アイコンから指を放してください。




メモ

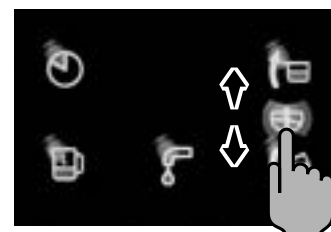
ケトルをチルティングしながら、または垂直方向に起こしながらミキサーツールを回転させることもできます。

『』アイコンを長押しし、ミキサーツールを回転させている状態で、指を『』アイコン（チルティングする場合）、または『』アイコン（ケトルを垂直方向に起こす場合）にスライドしてください。

ミキサーツールが回転しながら、ケトルがチルティング動作、または垂直方向に起きる動作をおこないます。

指を『』アイコンに戻すと、ミキサーツールの回転のみの動作に戻ります。

アイコンから指を放すと、各動作（ミキサーツールの回転、ケトルのチルティング、または垂直方向に起きる動作）は停止します。




調理プログラムについて

調理プログラムは、新しく作成したり、修正したり、削除したりすることができます。

新しい調理プログラムを作成する

ここでは、新しい調理プログラムを作成し、保存する方法について説明します。

1. 設定モードに入ってください

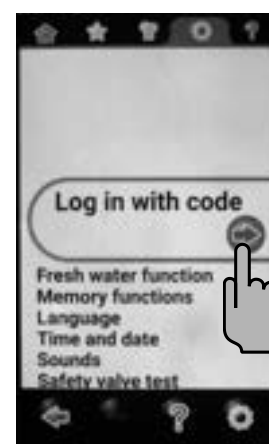
『』アイコンをタップしてください。

ユーザー設定の画面が表示されます。



2. 「Log in with code」の『』アイコンをタップしてください

「Log on」画面（ログインコード入力画面）が表示されます。



3. ログインコードを入力して調理プログラムの設定モードに入ってください

ログインコードを入力して、『』アイコンをタップしてください。

工場出荷時のログインコードは、「1234」です。

調理プログラムの設定モードに入ったことを表す画面が表示されます。

メモ

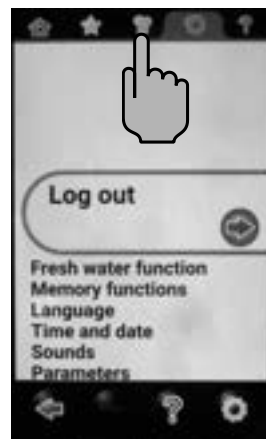
ログインコードは、変更することができます。

ログインコードの変更方法については「ログインコードを変更する」（93ページ）を参照してください。



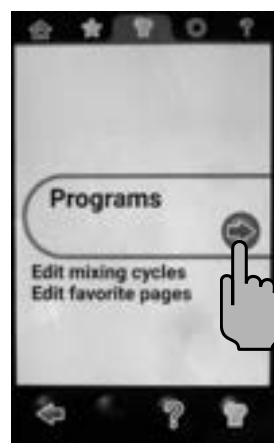
4. 『👤』アイコンをタップしてください

選択画面が表示されます。



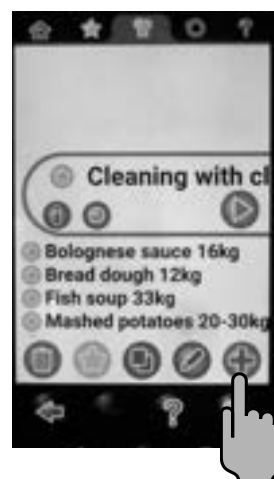
5. 「Programs」の『⇄』アイコンをタップしてください

調理プログラムの選択画面が表示されます。



6. 『+』アイコンをタップしてください

「Edit:」画面（調理プログラムの名前を入力する画面）が表示されます。



7. 調理プログラムの名前を入力してください

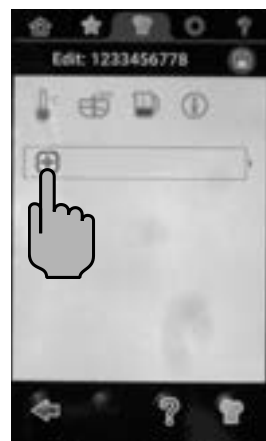
名前を入力して、『✔️』アイコンをタップして確定してください。
調理プログラムを設定する画面が表示されます。



8. 調理内容を設定してください

『+』アイコンをタップしてください。

『℃』 『🕒』 『❄️』アイコンが表示され、フェーズ1が設定可能状態になります。



フェーズの調理温度と調理時間を設定してください。

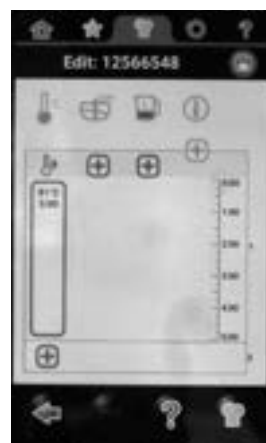


各アイコンは、以下の通りになります。

アイコン	設定内容
℃	フェーズの加熱調理温度を設定します。 『❄️』を設定している場合は、このアイコンは選択できません。
🕒	フェーズの調理時間を設定します。
❄️	フェーズの冷却調理温度を設定します。 『℃』を設定している場合は、このアイコンは選択できません。

フェーズの調理温度と調理時間を設定すると、右のような画面が表示されます。

攪拌と給水の設定をおこなってください。




攪拌を設定する場合は、「」下の『』アイコンをタップしてください。

攪拌を設定する画面が表示されます。



攪拌の設定方法は、以下の3種類ありますので、お好みで設定をおこなってください。

攪拌の設定は、表示されている攪拌メニューからお好みの攪拌を選択する方法

設定するときは、お好みの攪拌メニューをタップしてください。攪拌メニューをタップしたときに表示される『』アイコンをタップすると攪拌動作内容を確認することができます。




攪拌の回転数 (r.p.m.) を入力する方法


画面上部の「15」をタップすると値を入力するための画面が表示されます。

お好みの回転数 (r.p.m.) を入力してください。

スライダーを操作して回転数 (r.p.m.) を設定する方法

画面右側のスライダーを操作して回転数 (r.p.m.) を設定することができます。

お好みで、正転 (時計回り)、逆転 (反時計回り) をおこなう場合、『』アイコンをタップして設定ください。

設定後は、『』アイコンをタップしてください。

設定が確定され、1つ前の画面に戻ります。

給水を設定する場合は、「」下の『』アイコンをタップしてください。

給水を設定する画面が表示されます。



好みの給水量を入力して、『✔️』アイコンをタップしてください。

設定が確定され、1つ前の画面に戻ります。



フェーズの調理終了後に、メッセージを表示させたい場合は、『i』下の『+』アイコンをタップしてください。



「No info text」または、『✎️』アイコンをタップすると、メッセージを入力する画面が表示されます。

ここで入力されたメッセージは、フェーズの調理終了時に画面に表示されます。

フェーズの調理終了時に、食材を追加投入する必要がある場合、その食材を投入することをメッセージとして表示させると便利です。

例えば、フェーズ1の調理終了時に豚肉を2kg投入する場合「ADD POKE MEAT 2kg」と設定し、フェーズ2の調理終了時に出汁を5L追加する場合「ADD DASHI 5L」と設定しておく、フェーズ1の調理終了時に画面に「ADD POKE MEAT 2kg」を表示し、フェーズ2の調理終了時に画面に「ADD DASHI 5L」と表示されます。

メモ

日本語の入力はできません。使用できる文字は、英数字と記号のみになります。

「Default Info」または『🔔』アイコンをタップすると、フェーズの調理終了時に鳴らすお知らせ音を選択し設定することができます。

「Before kettle runs next job:」

フェーズの調理終了後の動作の設定です。

「Hold conditions and wait until user clicks OK button」、または「Kettle moves to next phase automatically without waiting」のどちらかを選択してください。

「Hold conditions and wait until user clicks OK button」：

フェーズの調理終了後、ユーザーが『▶』アイコンをタップするまで、次のフェーズの調理を開始しない設定

「Kettle moves to next phase automatically without waiting」：

フェーズの調理終了後、次のフェーズの調理を開始する設定

設定後、『✔️』アイコンをタップしてください。

設定が確定され、1つ前の画面に戻ります。

9. 次のフェーズを設定してください

次のフェーズを設定する場合は、次のフェーズの『+』アイコンをタップしてください。

次のフェーズの設定が可能になります。

フェーズ1と同様の手順で、各設定をおこなってください。



次のフェーズの設定をおこなわない場合は、画面上部にある『🏠』アイコンをタップして設定を保存してください。

1つ前の画面に戻ります。

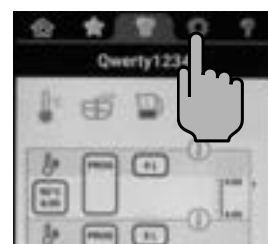
作成した調理プログラムが保存されていることを確認してください。

続けて、調理プログラムの作成をおこなう場合は、「6.」～「9.」までの操作を繰り返して調理プログラムを作成してください。

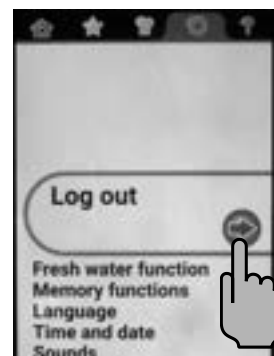
10. 調理プログラムの作成ができましたら設定モードを終了してください

緑色の『🏠』アイコンをタップしてください。

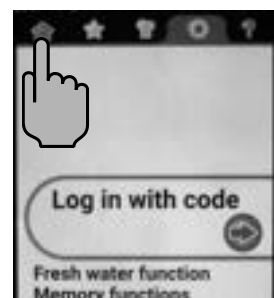
ユーザー設定の画面が表示されます。



「Log out」の『➡』アイコンをタップすると、「Log in with code」に切替わり、設定モードが終了されます。



『🏠』アイコンをタップして、ホーム画面に戻ってください。




調理プログラムの設定内容の修正

保存されている調理プログラムや、保存した調理プログラムの設定内容は、後から修正することができます。

ここでは、調理プログラムの設定内容の修正方法について説明します。

1. 設定モードに入ってください

『』アイコンをタップしてください。

ユーザー設定の画面が表示されます。



2. 「Log in with code」の『』アイコンをタップしてください

「Log on」画面（ログインコード入力の画面）が表示されます。



3. ログインコードを入力して調理プログラムの設定モードに入ってください

ログインコードを入力して、『』アイコンをタップしてください。

工場出荷時のログインコードは、「1234」です。

調理プログラムの設定モードに入ったことを表す画面が表示されます。

メモ

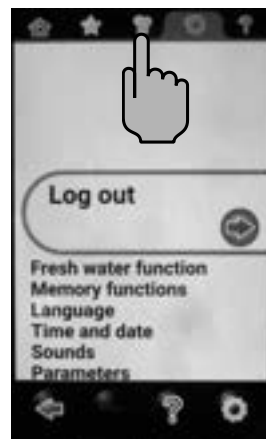
ログインコードは、変更することができます。

ログインコードの変更方法については「ログインコードを変更する」（93ページ）を参照してください。



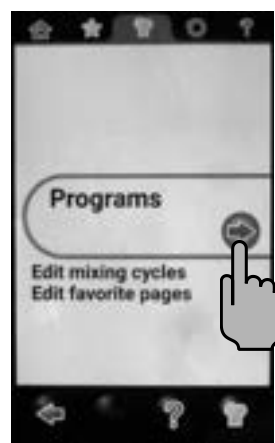
4. 『👤』アイコンをタップしてください

選択画面が表示されます。



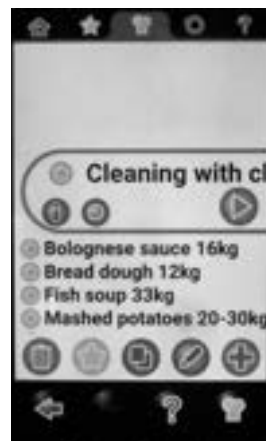
5. 「Programs」の『⇌』アイコンをタップしてください

調理プログラムの選択画面が表示されます。



6. 修正する調理プログラムを選択してください

画面を上下にスクロールして、修正する調理プログラムを選択してください。



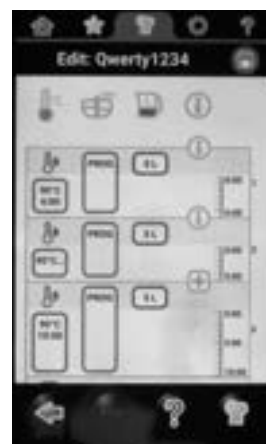
7. 調理プログラムの設定内容を修正してください

『🔍』アイコンをタップしてください。

調理プログラムの各フェーズの設定内容が表示されます。

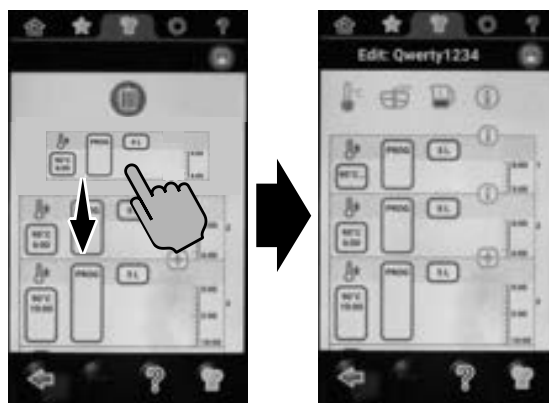


フェーズ内の値を修正する場合は、修正する箇所（アイコンや値）をタップすると、修正が可能になります。



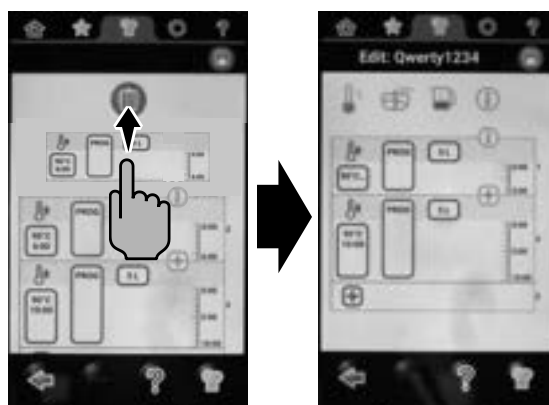
フェーズの順番を変更したい場合

順番を移動させたいフェーズの中央部分を1秒間長押しすると、そのフェーズが小さく表示されますので、指でドラッグしながら任意の場所に移動してください。



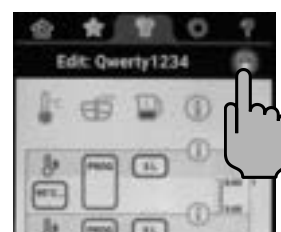
1部のフェーズを削除したい場合

削除したいフェーズの中央部分を1秒間長押しすると、そのフェーズが小さく表示され、『🗑️』が表示されますので、指でドラッグしながら『🗑️』に入れてください。




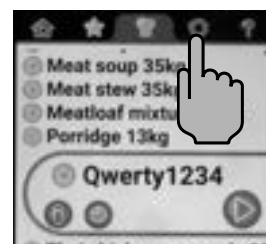
調理プログラムの修正が完了しましたら、画面上部にある『📁』アイコンをタップして保存してください。


1つ前の画面に戻ります。

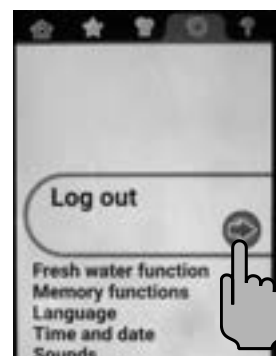



8. 調理プログラムの修正ができましたら設定モードを終了してください

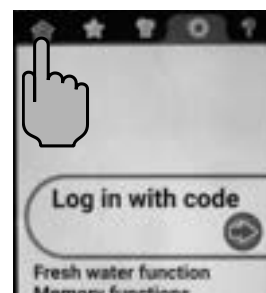
緑色の『』アイコンをタップしてください。
ユーザー設定の画面が表示されます。



「Log out」の『』アイコンをタップすると、「Log in with code」に切替わり、設定モードが終了されます。




『』アイコンをタップして、ホーム画面に戻ってください。



調理プログラムの削除

ここでは、保存されている調理プログラムや、保存した調理プログラムの削除方法について説明します。

1. 設定モードに入ってください

『』アイコンをタップしてください。

ユーザー設定の画面が表示されます。



2. 「Log in with code」の『』アイコンをタップしてください

「Log on」画面（ログインコード入力画面）が表示されます。



3. ログインコードを入力して調理プログラムの設定モードに入ってください

ログインコードを入力して、『』アイコンをタップしてください。

工場出荷時のログインコードは、「1234」です。

調理プログラムの設定モードに入ったことを表す画面が表示されます。

メモ

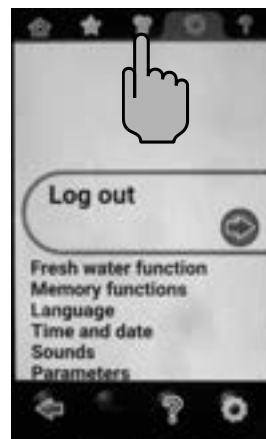
ログインコードは、変更することができます。

ログインコードの変更方法については「ログインコードを変更する」（93ページ）を参照してください。



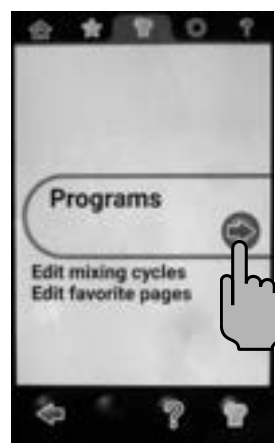
4. 『👤』アイコンをタップしてください

選択画面が表示されます。



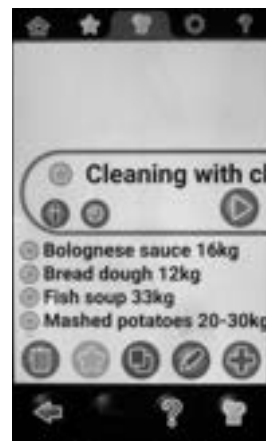
5. 「Programs」の『➡』アイコンをタップしてください

調理プログラムの選択画面が表示されます。



6. 削除する調理プログラムを選択してください


画面を上下にスクロールして、削除する調理プログラムを選択してください。

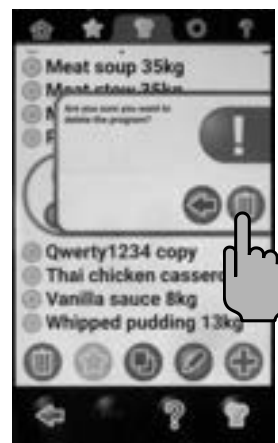


7. 調理プログラムを削除してください


『🗑️』アイコンをタップしてください。
削除の確認画面が表示されます。

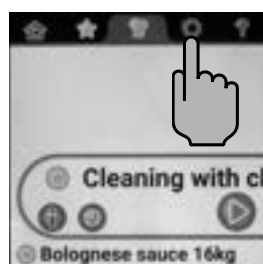



調理プログラムを削除する場合は、『』アイコンをタップしてください。
調理プログラムが削除されます。

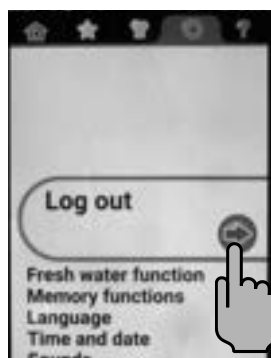



8. 調理プログラムの削除ができましたら設定モードを終了してください

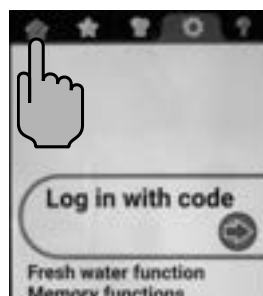
緑色の『』アイコンをタップしてください。
ユーザー設定の画面が表示されます。



「Log out」の『』アイコンをタップすると、「Log in with code」に切替わり、設定モードが終了されます。




『』アイコンをタップして、ホーム画面に戻ってください。



調理プログラムのコピー

保存されている調理プログラムや、保存した調理プログラムは、コピーを作ることができます。
ここでは、調理プログラムのコピーを作る方法について説明します。

1. 設定モードに入ってください

『』アイコンをタップしてください。
ユーザー設定の画面が表示されます。



2. 「Log in with code」の『』アイコンをタップしてください

「Log on」画面（ログインコード入力画面）が表示されます。



3. ログインコードを入力して調理プログラムの設定モードに入ってください

ログインコードを入力して、『』アイコンをタップしてください。

工場出荷時のログインコードは、「1234」です。

調理プログラムの設定モードに入ったことを表す画面が表示されます。

メモ

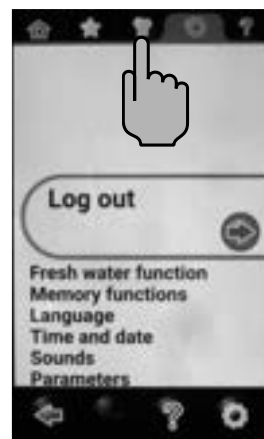
ログインコードは、変えることができます。

ログインコードの変更方法については「ログインコードを変更する」（93ページ）を参照してください。



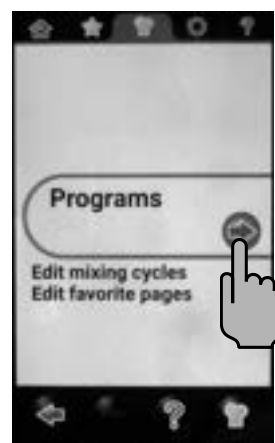
4. 『👤』 アイコンをタップしてください

選択画面が表示されます。



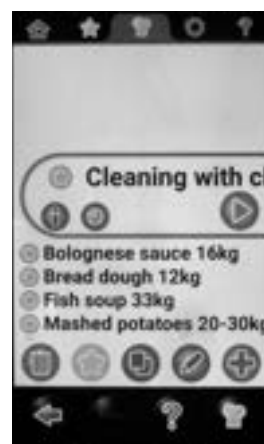
5. 「Programs」の『⇌』アイコンをタップしてください

調理プログラムの選択画面が表示されます。



6. コピーを作る調理プログラムを選択してください

画面を上下にスクロールして、コピーを作る調理プログラムを選択してください。



7. 調理プログラムのコピーを作成してください

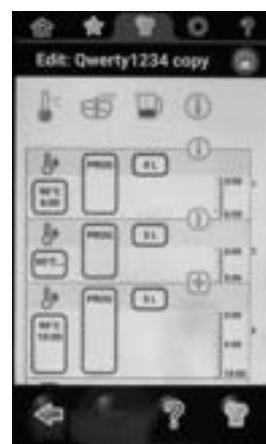
『📄』アイコンをタップしてください。


調理プログラムのコピーが作成され、設定内容が表示されます。

調理プログラム名の後に「COPY」が付きます。




フェーズ内の値を修正する場合は、修正する箇所（アイコンや調理プログラム名）をタップして修正をおこなってください。

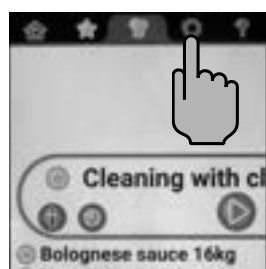



画面上部にある『』アイコンをタップして保存してください。コピーが確定され、1つ前の画面に戻ります。

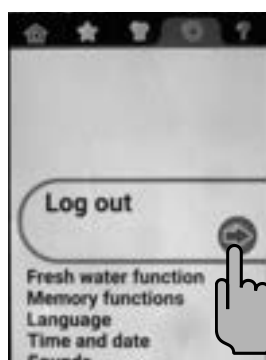



8. 調理プログラムのコピーが完了しましたら設定モードを終了してください

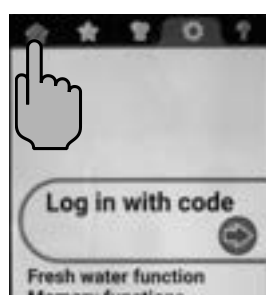
緑色の『』アイコンをタップしてください。
ユーザー設定の画面が表示されます。



「Log out」の『』アイコンをタップすると、「Log in with code」に切替わり、設定モードが終了されます。



『』アイコンをタップして、ホーム画面に戻ってください。




攪拌サイクルの作成

攪拌サイクルは、保存されているサイクル以外に、お客様にて調理プログラムは、新しく作成したり、修正したり、削除したりすることができます。

ここでは、新しい攪拌サイクルを作成し、保存する方法について説明します。

1. 設定モードに入ってください

『』アイコンをタップしてください。

ユーザー設定の画面が表示されます。



2. 「Log in with code」の『』アイコンをタップしてください

「Log on」画面（ログインコード入力画面）が表示されます。



3. ログインコードを入力して調理プログラムの設定モードに入ってください

ログインコードを入力して、『』アイコンをタップしてください。

工場出荷時のログインコードは、「1234」です。

調理プログラムの設定モードに入ったことを表す画面が表示されます。

メモ

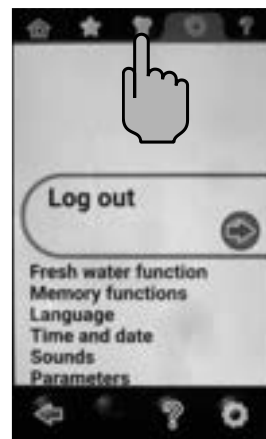
ログインコードは、変えることができます。

ログインコードの変更方法については「ログインコードを変更する」（93ページ）を参照してください。



4. 『👤』 アイコンをタップしてください

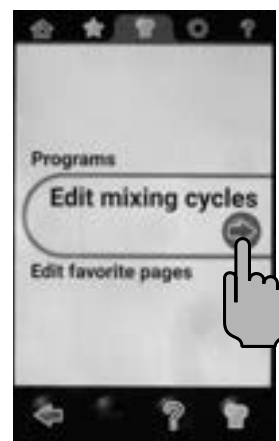
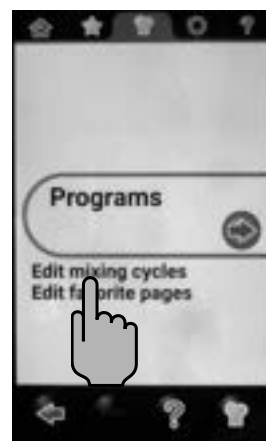
選択画面が表示されます。



5. 「Edit mixing cycles」に入ってください

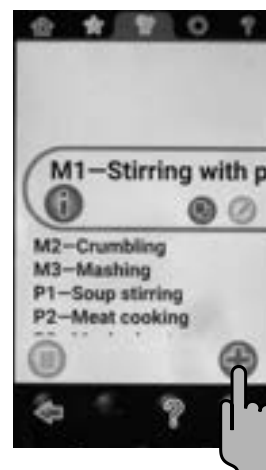
「Edit mixing cycles」を選択して、『↔️』アイコンをタップしてください。

攪拌メニューの画面が表示されます。

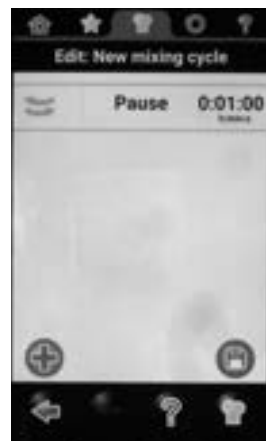


6. 『⊕』 アイコンをタップしてください


攪拌サイクル設定の画面が表示されます。








7. 攪拌サイクルを設定してください




回転方向を設定してください。

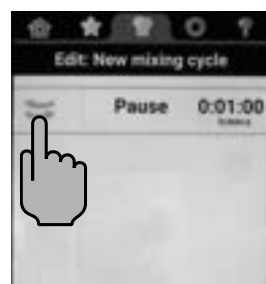
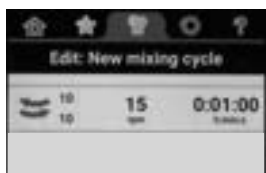
『』をタップすることにより以下のように変わります。

『 Pause (停止)』 → 『 正回転 (時計回り)』 →
『 逆回転 (反時計回り)』 → 『 正回転、逆回転交互』
→ 『 Pause (停止)』

正回転、逆回転交互を選択した場合は、それぞれの回転時間を設定することができます。

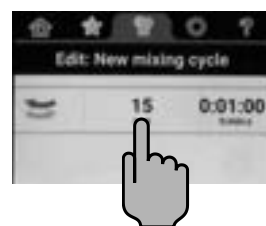
正回転 (時計回り)、または逆回転 (反時計回り) の回転時間を設定する場合は、矢印部分をタップすると回転時間を設定する画面が表示されます (『』) ので、時間を設定してください。

工場出荷時は、それぞれ10s (秒) になっています。



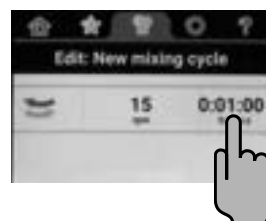
回転数 (r.p.m.) を設定してください。


回転数 (r.p.m.) を設定する場合は、回転数 (r.p.m.) 表示部分をタップすると回転数を設定する画面が表示されますので、回転数を設定してください。

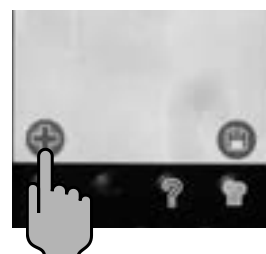


攪拌時間を設定してください。

攪拌時間を設定する場合は、画面が表示されますので、時間を設定してください。



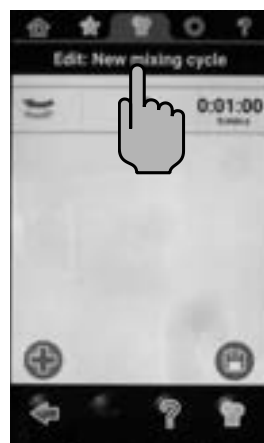
1 回の攪拌サイクルで複数段階の動作をおこなわせたい場合は、『』アイコンをタップして、必要段階の攪拌サイクルを作成してください。



8. 攪拌サイクルの名前を変更してください

名前の「Edit: New mixing cycle」をタップしてください。
名前を設定する画面が表示されます。

名前を変更しないで作成した攪拌サイクルを保存すると、名前は「New mixing cycle」と保存されます。



名前を変更して、『✔️』アイコンをタップして確定してください。
1つ前の画面に戻ります。

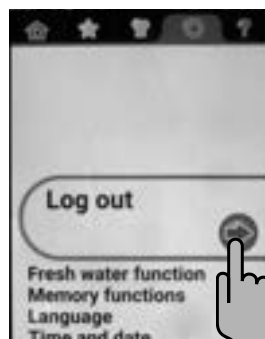


9. 攪拌サイクルの作成が完了しましたら設定モードを終了してください

緑色の『🔄』アイコンをタップしてください。
ユーザー設定の画面が表示されます。



「Log out」の『➡️』アイコンをタップすると、「Log in with code」に切り替わり、設定モードが終了されます。



『🏠』アイコンをタップして、ホーム画面に戻ってください。



「★ (Favorite pages : お気に入りページ)」

登録された調理プログラムは、「★ (Favorite pages : お気に入りページ)」のページ毎にショートカットメニューを入れることでグループ管理することができます。

例えば、

ソースのページを作って、そのページ内にいろんなソースの調理プログラムのショートカットメニューを入れたり、またはスープのページを作って、いろんなスープの調理プログラムのショートカットメニューを入れたりできます。

「★ (Favorite pages : お気に入り)」は、以降「★」とします。

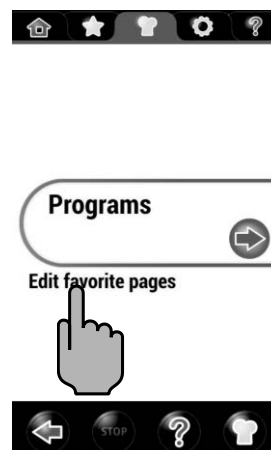
「★」に「Favorite pages」(お気に入りページ)を作る

1. 「👤」アイコンをタップしてください

選択画面が表示されます。



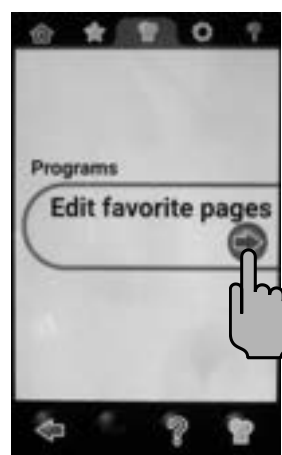
2. 「Edit favorite pages」をタップしてください




3. 「Edit favorite pages」の「➡️」アイコンをタップしてください

「Favorite pages」(お気に入りページ)のページ一覧の画面が表示されます。

工場出荷時、ページは何も設定されていません。



4. 「Favorite pages」 (お気に入りページ) のページを追加作成してください

『』アイコンをタップしてください。
ページの名前を入力する画面が表示されます。



ページの名前を入力して、『』アイコンをタップして確定してください。

ひとつ前のページ一覧の画面に戻ります。
新しくページが追加されていることを確認してください。



更にページを追加する場合は、この操作を繰り返してください。



5. ホーム画面に戻る場合は、『』アイコンをタップしてください

「Favorite pages」(お気に入りページ)のページに調理プログラムのショートカットメニューを入れる

ここでは、「Favorite pages」(お気に入りページ)に作った任意のページに調理プログラムのショートカットメニューを入れる方法について説明します。

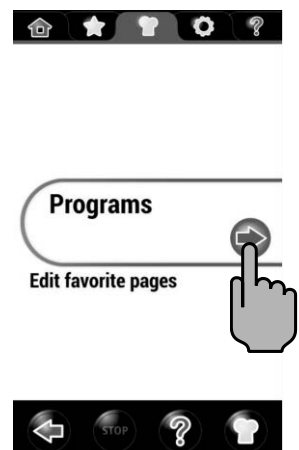
1. 『👤』アイコンをタップしてください

選択画面が表示されます。



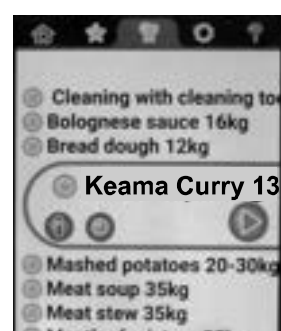
2. 「Programs」の『⇌』アイコンをタップしてください

調理プログラムの選択画面が表示されます。



3. 調理プログラムを選択してください

「Favorite pages」に作ったページに入れる調理プログラムを選択してください。



調理プログラムを選択したあと、画面下の『☆』アイコンをタップしてください。
「Favorite pages」（お気に入りページ）のページ選択の画面が表示されます。



調理プログラムを入れるページの名前の右側にある『☆』アイコンをタップしてください。

『☆』アイコンが黄色になります。

これで、調理プログラムのショートカットメニューがページ内に入りました。



1つ前の画面に戻る場合は、『←』アイコンをタップしてください。

ページにショートカットメニューを入れる操作を終了する場合は、『🏠』アイコンをタップしてホーム画面に戻ってください。

4. ページ内に調理プログラムのショートカットメニューが入っていることを確認してください

『★』アイコンをタップしてください。

ページの画面が表示されます。



画面を左右にスクロールして、目的のページを表示させてください。

ページにプログラムのショートカットメニューが入っていることを確認してください。



ホーム画面に戻る場合は、『🏠』アイコンをタップしてください。

「★」のショートカットメニューを使って調理をおこなう

ここでは、『★』に入れた調理プログラムのショートカットメニューを使って調理をおこなう方法について説明します。

1. 『★』アイコンをタップしてください

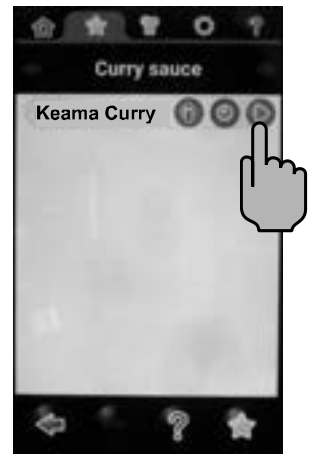
ページの画面が表示されます。



2. 調理を開始してください

画面を左右にスクロールして、目的のページを表示させてください。

調理プログラムのショートカットメニューの名前の右側にある『▶』アイコンをタップすると、調理プログラムの調理が開始されます。



「Favorite pages」(お気に入りページ)のページの名前を変える

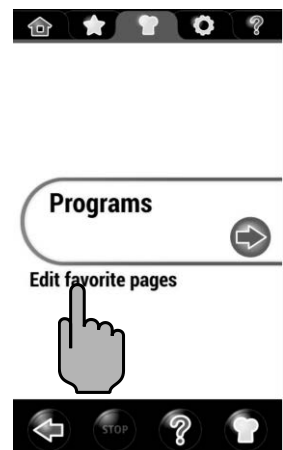
ここでは、「Favorite pages」(お気に入りページ)に作ったページの名前を変える方法について説明します。

1. 『👤』アイコンをタップしてください

選択画面が表示されます。



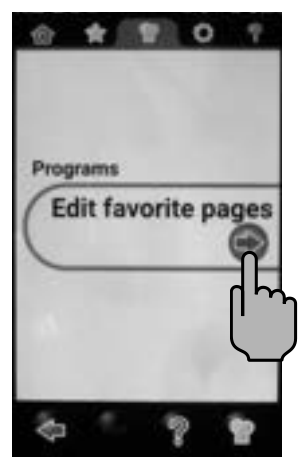
2. 「Edit favorite pages」をタップしてください



3. 「Edit favorite pages」の『➡️』アイコンをタップしてください

「Favorite pages」(お気に入りページ)のページ一覧の画面が表示されます。

工場出荷時、ページは設定されていません。



4. ページの名前を変更してください

ページの名前の前にある『🔒』アイコンをタップしてください。

ページの名前を入力する画面が表示されます。



ページの名前を入力して、『』アイコンをタップして確定してください。

1つ前のページ一覧の画面に戻ります。

名前が変更されていることを確認してください。



5. ホーム画面に戻る場合は、『』アイコンをタップしてください

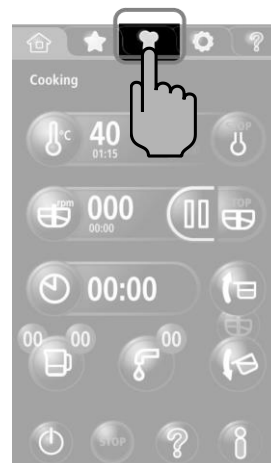
「Favorite pages」（お気に入りページ）の削除

ここでは、『★』に作った「Favorite pages」（お気に入りページ）を削除する方法について説明します。

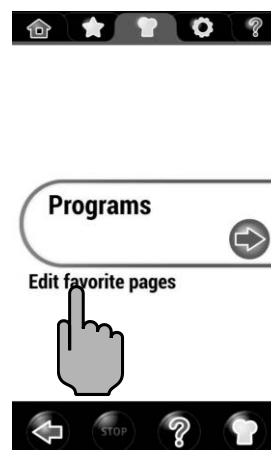
「Favorite pages」（お気に入りページ）を削除すると、ページ内に入っている調理プログラムのショートカットアイコンも消えます。

1. 『👤』アイコンをタップしてください

選択画面が表示されます。

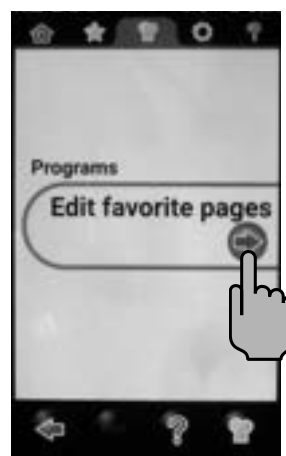


2. 「Edit favorite pages」をタップしてください



3. 「Edit favorite pages」の『👤』アイコンをタップしてください

「Favorite pages」（お気に入りページ）のページ一覧の画面が表示されます。



4. 任意のページを削除してください

削除するページの名前を長押ししてください。

ページの名前が小さくなり、画面下に『🗑️』が表示されます。

ページの名前をドラッグしたまま『🗑️』に入れて削除してください。



ホーム画面に戻る場合は、『🏠』アイコンをタップしてください。

お手入れ

いつも清潔にご使用いただくためと、機械を長持ちさせるために、必ず「お手入れ」をおこなってください。

⚠ 警告



ケトル内以外には直接水をかけないこと
漏電、ショート、感電の原因になります。

本機から取り外したミキサーツールや安全蓋、ストレーナープレートは、落とさないこと
落とした場合、ケガの原因になります。

⚠ 注意



使用後は、ケトル内、ミキサーツール、安全蓋、格子蓋、ステンレス製カバーの洗浄をおこなうこと
雑菌が繁殖し、健康障害の原因になります。

お手入れのときや、点検のときは、ケトル内が触ることができる温度まで冷めるのを待つこと
熱い状態で触れた場合、やけどの原因になります。

お願い

次亜塩素酸を含む除菌剤や電解酸性水、オゾン水は、使用しないでください。
部品の劣化、変色の原因になります。

清掃をするとき、クレンザー、酸類、アルカリ性洗剤、ベンジン、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。
傷がついたり、錆の原因になります。

気泡性、強力な浸食性、有毒性のある洗浄剤は絶対に使用しないでください。
やむを得ず、塩素系の洗剤や電解酸性水などを使用して洗浄をおこなう場合は、漬け置きしないで洗浄してください。

洗浄後は、十分すすいでから速やかに水気を切り、完全に乾燥させてください。

塩素系の洗剤や電解酸性水、オゾン水などに、漬け置きしますと、錆および腐食の原因になります。


除菌洗浄をおこなう際の洗浄剤は、無泡性および低発泡性で、厨房設備および調理器具用のものを使用し、入れすぎないようにしてください。

濃度が濃すぎると金属、プラスチック、樹脂の部品を損傷します。

洗浄剤、アルコール除菌剤の使用については、各々の定める使用方法および、使用上の注意事項に従ってください。

ケトル、ミキサーツールの洗浄

ここでは、ケトルとミキサーツールを洗浄する方法について説明します。

1. チルティングの『』アイコンを操作して、ケトルを90°以上傾けてください
2. メイン電源スイッチをOFFにしてください
3. ケトル内からミキサーツールを取り外してください



4. ミキサーツールから各スクレーパーを取り外してください

機種により、スクレーパーの数が異なります。



5. ミキサーツールから取り外したスクレーパーを使ってケトル内に付着している食材をかき出してください
6. ケトル内を洗浄してください

本機のハンドシャワーを使って、ケトル内に付着した食材を水ですすいでください。

ケトル内は、中性洗剤を使って、やわらかいスポンジやブラシで洗浄してください。

お願い

クレンザー、酸類、アルカリ性洗剤、ベンジン、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。
硬いブラシや金属タワシなどは使用しないでください。
ケトル内に傷がつきますと、菌の繁殖の原因になります。

洗浄後は、飲料用のきれいな水でケトル内をすすぎ洗いし、洗剤成分を完全に洗い流してください。

ケトル内に付着した水分を除菌済みの乾いたきれいに布などで拭き取ってください。

ケトル内をアルコール除菌洗浄剤で、除菌してください。

7. ミキサーツールとスクレーパーを洗浄してください

ミキサーツールとスクレーパーは、中性洗剤を使って、やわらかいスポンジやブラシで洗浄してください。

お願い

クレンザー、酸類、アルカリ性洗剤、ベンジン、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。
硬いブラシや金属タワシなどは使用しないでください。
ミキサーツールやスクレーパーに傷がつきますと、菌の繁殖の原因になります。

洗浄後は、飲料用のきれいな水でミキサーツールとスクレーパーをすすぎ洗いし、洗剤成分を完全に洗い流してください。

ミキサーツールやスクレーパーに付着した水分を除菌済みの乾いたきれいに布などで拭き取ってください。

ミキサーツールやスクレーパーをアルコール除菌洗浄剤で、除菌してください。

8. メイン電源スイッチをONにしてください

9. チルティングの『』アイコンを操作して、ケトルを垂直にしてください

10. メイン電源スイッチをOFFにしてください

安全蓋、格子蓋、ステンレス製カバーの洗浄

1. ケトルを垂直の位置まで起こして、安全蓋を閉めてください
2. メイン電源スイッチをOFFにしてください
3. 安全蓋からステンレス製カバーと格子蓋を取り外してください
4. 安全蓋を取り外してください

⚠ 警告



安全蓋の取り外しは、片手でリフティングアームをしっかり持った状態でおこなうこと
片手でリフティングアームを持っていないと、安全蓋が外れた際、リフティングアームが勢いよく上がるため、ケガの原因になります。

片手でリフティングアームをしっかり持って
ってください。

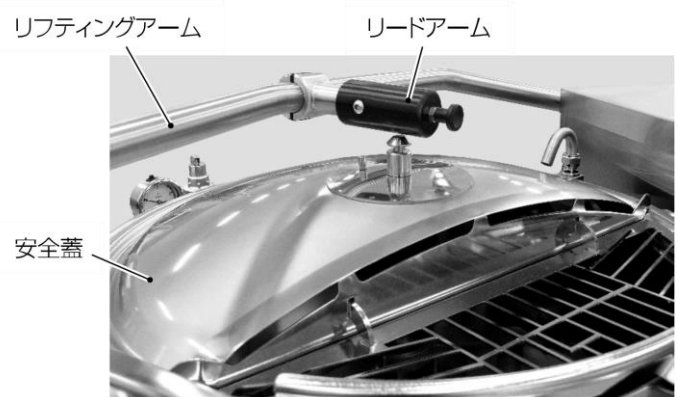
安全蓋を固定しているロックingleバーを
止まるところまで引いてください。

安全蓋がリードアームから外れます。



リフティングアームを上
に止まるところまで
でゆっくり持ち上げて
ください。

安全蓋を取り外して
ください。



5. 安全蓋、格子蓋、ステンレス製カバーを洗浄してください

安全蓋、格子蓋、ステンレス製カバーは、中性洗剤を使って、やわらかいスポンジやブラシで洗浄してください。

お願い

クレンザー、酸類、アルカリ性洗剤、ベンジン、ガソリン、シンナーなどは使用しないでください。

硬いブラシや金属タワシなどは使用しないでください。

安全蓋、安全グリッド、格子蓋に傷がつきますと、菌の繁殖の原因になります。

洗浄後は、飲料用のきれいな水で安全蓋、格子蓋、ステンレス製カバーをすすぎ洗いし、洗剤成分を完全に洗い流してください。

安全蓋、格子蓋、ステンレス製カバーに付着した水分を除菌済みの乾いたきれいに布などで拭き取ってください。

安全蓋、格子蓋、ステンレス製カバーをアルコール除菌洗浄剤で、除菌してください。

6. 安全蓋をリフティングアームに取り付けてください

ケトルの上に安全蓋を正しい向きで置いてください。

リフティングアームを降してください。

リードアームを押さえて安全蓋のピンをリードアームの穴にしっかりと差し込んでください。

安全蓋がリードアームにしっかりと固定されていることを確認してください。

リフティングアーム

リードアーム

安全蓋



警告



安全蓋を取り外し、取り付けた後は、安全蓋がリードアームにしっかりと固定されているのを確認すること。安全蓋が外れて落下した場合、ケガの原因になります。

安全蓋に格子蓋、ステンレス製カバーを取り付けてください。

外装のお手入れ

警告



ケトル内以外には直接水をかけないこと
漏電、ショート、感電の原因になります。

1. メイン電源スイッチをOFFにしてください
2. 本機専用電源を『OFF(切)』にし、水道栓を閉めてください
3. 本機の外装の清掃をしてください

お願い

本機のケトル内以外には、水や洗剤などを直接かけないでください。
機械内部に入りますと、故障の原因になります。


タッチパネル部を清掃するときは、強い力をかけないようにしてください。
強い力をかけますと、破損の原因になります。

中性洗剤を布やスポンジなどに染みこませて、本機の外装をきれいに拭いてください。
水を含ませた布などで、洗剤成分を十分に拭き取ってください。
乾いた布で残っている水分をきれいに拭き取ってください。

ユーザー設定

ユーザー設定画面

設定モードに入ってください

『』アイコンをタップしてください。

ユーザー設定の画面が表示されます。



ユーザー設定の項目

言語、日時、アラームの音量を設定変更することができます。

HACCPデータをUSBメモリーにコピーしたりすることもできます。

各設定項目の内容は、下記表のようになっています。


項目	内容
Fresh water function (給水管の水抜き)	本機は、1日に1度スチームジェネレータ内とスチームジェネレータに関する給水管配管内の水の入替えの設定を変更することができます。 手動操作で、水の入替えをおこなうこともできます。 「スチームジェネレータ内と給水管配管内の水の入替え」(73ページ)を参照してください。
Memory function (メモリー保存機能)	本機が記録したHACCPデータをUSBメモリーにコピーすることができます。 コピーは一括でおこなわれます。 コピーされるデータの内容は以下のものになります。 日時と時間の情報 調理の設定温度 食材の測定温度 ジャケットの測定温度 加熱のONとOFF 冷却のONとOFF 攪拌のONとOFF 電気の総消費量 過去30日間のデータになります。 コピーされるデータはCSV形式になり、Excelで開くことができます。 「HACCPデータをUSBメモリーにコピーする」(75ページ)を参照してください。
Language (言語選択)	画面に表示される言語を切り替えることができます。 「言語の変更」(77ページ)を参照してください。
Time and date (時間と日付)	日付、時間を変えることができます。 「日時の変更」(78ページ)を参照してください。
Sounds (お知らせ音)	お知らせ音の音量を設定変更することができます。 「お知らせ音の音量の設定変更」(79ページ)を参照してください。
Safety valve test (安全弁テスト)	安全弁が正常に動作するか確認することができます。 「任意でおこなう安全弁の動作確認」(82ページ)を参照してください。
Version info (バージョン情報)	本機のファームウェアのバージョンを確認することができます。
Use electricity and water (電気消費量と水の消費量)	電気や水の使用量を確認することができます。 表示される値は目安であり、実際の使用量と異なる場合があります。

スチームジェネレータ内と給水用配管内の水の入替え

本機は、1日に1度スチームジェネレータ内とスチームジェネレータに関する給水用配管内の水の入替えをおこないます。

ここでは、水の入替えの設定の変更方法について説明します。


1. 設定モードに入ってください

『』アイコンをタップしてください。

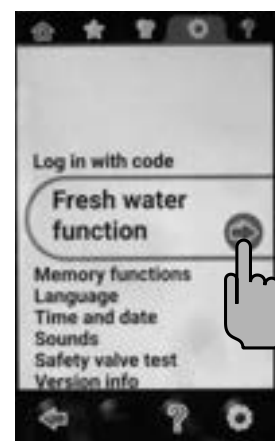
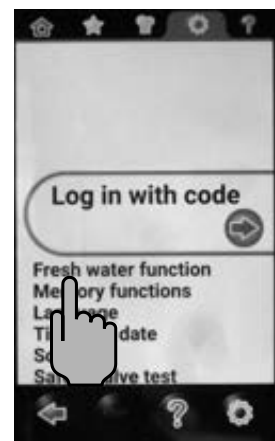
ユーザー設定の画面が表示されます。



2. 「Fresh water function」に入ってください

「Fresh water function」を選択して、『』アイコンをタップしてください。



水の入替えの設定画面が表示されます。



3. 設定を変更してください



各設定項目の内容は、下記表のようになっています。

項目	内容
Fresh water function duration	<p>水の入替えの時間（所要時間）を設定します。 工場出荷時は、60sに設定しています。 設定可能範囲：30s～600s 単位：s（秒） 値のアイコンをタップすると設定値変更の画面が表示されますので設定値を変更してください。</p>
Fresh water function frequency	<p>水の入替えをおこなってから、次の水の入替え開始までの間隔を設定します。 工場出荷時は、12hに設定しています。 設定可能範囲：0h～24h 単位：h（時間） 値のアイコンをタップすると設定値変更の画面が表示されますので設定値を変更してください。</p>
Start/stop fresh water function now:	<p>設定の時間に関係なく、手動操作で水の入替えをおこなうことができます。</p> <p>『』アイコンをタップすると、入替え動作を開始します。</p> <p>『』アイコンをタップすると、入替え動作を停止します。</p>

4. ホーム画面に戻る場合は、『』アイコンをタップしてください

HACCPデータをUSBメモリーにコピーする

ここでは、本機に記録されているHACCPデータをUSBメモリーにコピーする方法について説明します。


USBメモリーは、お客様にてご用意ください。

1. 本機にUSBメモリーを差し込んでください

本機の操作パネル部の後面側にあるUSBポートのカバーを外し、USBメモリーを差し込んでください。




2. 設定モードに入ってください

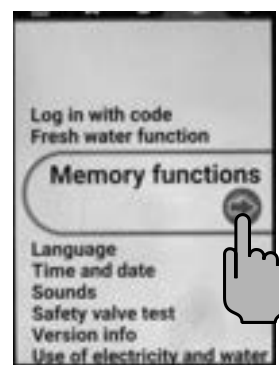
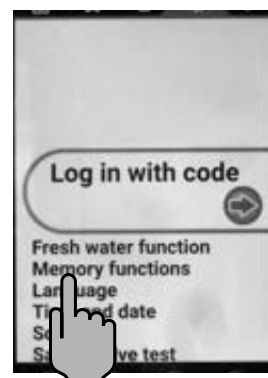
『』アイコンをタップしてください。
ユーザー設定の画面が表示されます。



3. 「Memory function」に入ってください

「Memory function」を選択して、『』アイコンをタップしてください。

「Save HACCP to USB」が表示されます。



4. コピーを開始してください

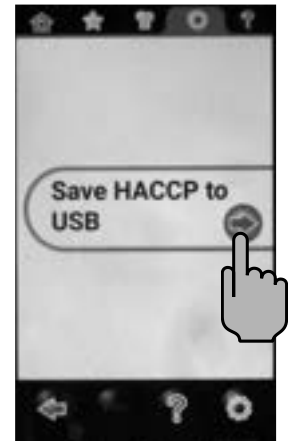
「Save HACCP to USB」の『▶』アイコンをタップしてください。

コピーが開始されます。

お願い

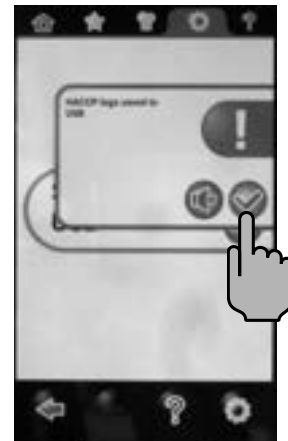
コピー中は、USBメモリーをUSBポートから取り外さないでください。

コピー中にUSBメモリーを取は外すと、データが壊れる恐れがあります。



コピーが完了すると、右のように「HACCP logs saved to USB」が画面に表示されます。

『✔』アイコンをタップして終了してください。



5. ホーム画面に戻る場合は、『🏠』アイコンをタップしてください

本機からUSBメモリーを取り外してください。

USBポートにカバーを取り付けてください。


メモ

USBメモリーにコピーされたデータはCSV形式になりますので、Excelで開いて内容を確認してください。

言語の変更

画面に表示する言語を変更することができます。
工場出荷時の設定は日本語です。

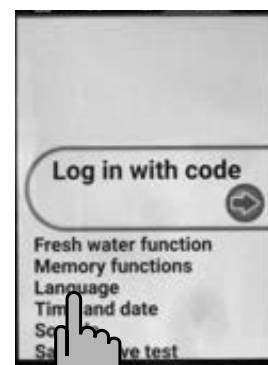
1. 設定モードに入ってください

『』アイコンをタップしてください。
ユーザー設定の画面が表示されます。



2. 「Language」に入ってください

「Langage」を選択して、『』アイコンをタップしてください。
言語選択の一覧表が表示されます。



3. 言語を切り替えてください

言語の名前をタップすると言語が切り替わり、1つ前の画面に戻ります。




4. ホーム画面に戻る場合は、『』アイコンをタップしてください

日時の変更

日付や時間を変更する必要がある場合、設定変更してください。


1. 設定モードに入ってください

『』アイコンをタップしてください。

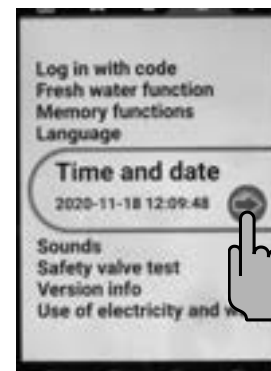
ユーザー設定の画面が表示されます。




2. 「Time and date」に入ってください

「Time and date」を選択して、『』アイコンをタップしてください。

日時設定画面が表示されます。



3. 日時の設定変更をおこなってください

年月日、または時間の設定変更をおこない、『』アイコンをタップして確定してください。

1つ前の画面に戻ります。




4. ホーム画面に戻る場合は、『』アイコンをタップしてください

お知らせ音の音量の設定変更


ここでは、フェーズの調理後や調理終了後などに鳴るお知らせ音の音量の設定方法についてください。

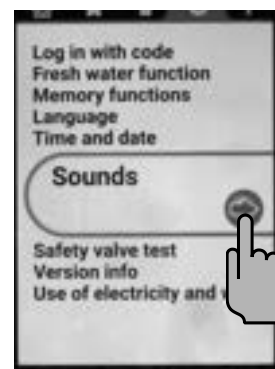
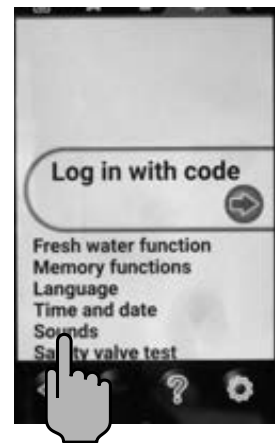
1. 設定モードに入ってください

『』アイコンをタップしてください。
ユーザー設定の画面が表示されます。



2. 「Sounds」に入ってください

「Sounds」を選択して、『』アイコンをタップしてください。
お知らせ音の音量の設定画面が表示されます。



3. 音量の設定変更をおこなってください

画面上部にある「Volume」のスライダーを操作して音量を設定変更してください。



4. ホーム画面に戻る場合は、『』アイコンをタップしてください

安全弁の動作確認

「Time to do safety valve test」が表示された場合

前回安全弁の動作確認をおこなってから、90日経過すると安全弁の動作確認をお願いするメッセージ「Time to do safety valve test」が表示されます。

メッセージが表示されましたら安全弁の動作確認をおこなっていただきますようお願いいたします。

ここでは、メッセージが表示されたときの安全弁の動作確認の方法について説明します。



⚠ 警告

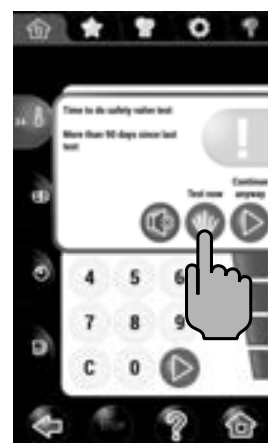


安全弁の動作確認をするときは、本機の後ろ側にひとを近づけさせないこと
安全弁が開くと、多量の蒸気が勢いよく排出されます。
排出される蒸気は、高温のため、ひとにかかると、やけどする恐れがあります。

1. 『👉』 (Test now) アイコンをタップしてください

『🔴』 アイコンをタップしてください。

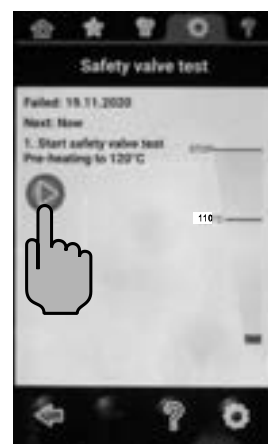
「Safety valve test」の画面が表示されます。



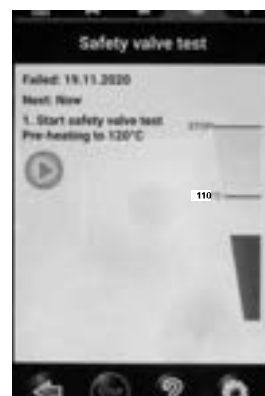
2. 安全弁の動作テストをおこなってください

『▶』 アイコンをタップしてください。

スチームジェネレータの加熱が始まります。



スチームジェネレータ内の温度が上がると、画面右端のゲージが上がっていきます。

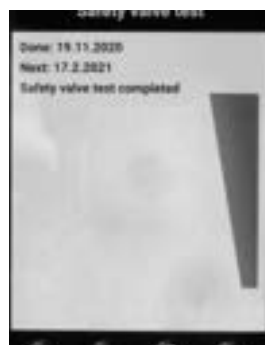


スチームジェネレータ内の温度が110℃を超えると右のような画面になり、『👉』アイコンが表示されます。

安全弁が動作するまで『👉』アイコンを押し続けてください。



安全弁が正常に動作すると、右のような画面が表示されます。



お願い

安全弁の動作不具合があった場合は、右のような画面が表示されます。

右のような画面が表示された場合は、すみやかにお買い上げ店に連絡してください。



3. ホーム画面に戻る場合は、『🏠』アイコンをタップしてください

任意でおこなう安全弁の動作確認

本機は、90日経過毎に安全弁の動作確認をお願いするメッセージを表示し、安全弁の動作確認をおこなっていただきますが、任意で動作確認をおこなうこともできます。

ここでは、任意でおこなう安全弁の動作確認の方法について説明します。




警告



安全弁の動作確認をするときは、本機の後ろ側にひとを近づけさせないこと
安全弁が開くと、多量の蒸気が勢いよく排出されます。
排出される蒸気は、高温のため、ひとにかかると、やけどする恐れがあります。


1. 設定モードに入ってください

『』アイコンをタップしてください。

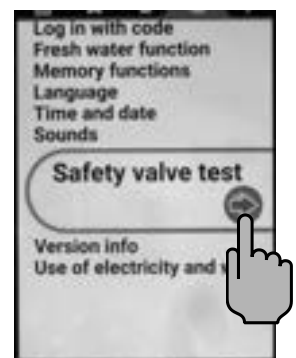
ユーザー設定の画面が表示されます。



2. 「Safety valve test」に入ってください

「Safety valve test」を選択して、『』アイコンをタップしてください。

「Safety valve test」（安全弁の動作テスト）の画面が表示されます。



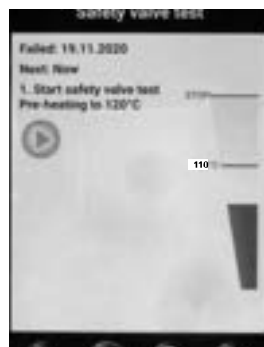
3. 安全弁の動作テストをおこなってください

『▶』アイコンをタップしてください。

スチームジェネレータの加熱が始まります。



スチームジェネレータ内の温度が上がると、画面右端のゲージが上がっていきます。

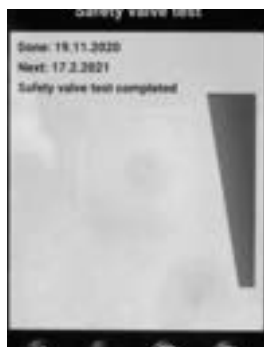


スチームジェネレータ内の温度が110℃を超えると右のような画面になり、『▶』アイコンが表示されます。



安全弁が動作するまで『▶』アイコンを押し続けてください。

安全弁が正常に動作すると、右のような画面が表示されます。



お願い

安全弁の動作不具合があった場合は、右のような画面が表示されます。右のような画面が表示された場合は、すみやかにお買い上げ店に連絡してください。



4. ホーム画面に戻る場合は、『🏠』アイコンをタップしてください

その他の機能

保存した調理プログラムをUSBメモリーにコピーする

本機に保存している調理プログラムは、お手持ちのUSBメモリーにコピーすることができます。お客様にて、調理プログラムのバックアップをとっておく場合に便利です。


ここでは、本機に保存している調理プログラムをUSBメモリーにコピーする方法について説明します。USBメモリーは、お客様にてご用意ください。

1. 本機にUSBメモリーを差し込んでください

本機の操作パネル部の後面側にあるUSBポートのカバーを外し、USBメモリーを差し込んでください。



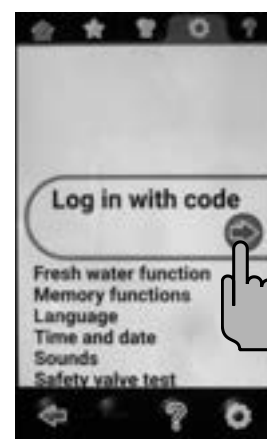
2. 設定モードに入ってください

『』アイコンをタップしてください。
ユーザー設定の画面が表示されます。



3. 「Log in with code」の『』アイコンをタップしてください

「Log on」画面（ログインコード入力の画面）が表示されます。



4. ログインコードを入力して調理プログラムの設定モードに入ってください

ログインコードを入力して、『✔️』アイコンをタップしてください。

工場出荷時のログインコードは、「1234」です。

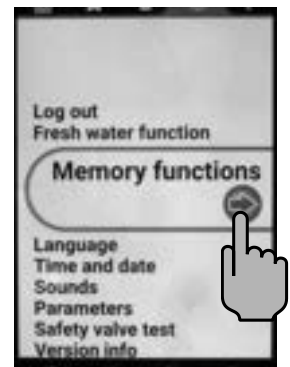
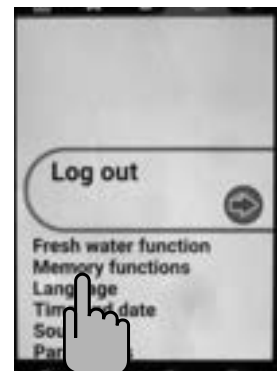
調理プログラムの設定モードに入ったことを表す画面が表示されます。



5. 「Memory functions」に入ってください

「Memory functions」を選択して、『➡️』アイコンをタップしてください。

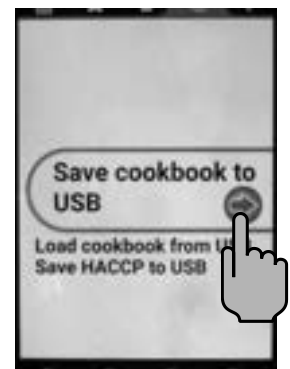
選択画面が表示されます。



6. USBメモリーに調理プログラムをコピーしてください

「Save cookbook to USB」を選択して、『➡️』アイコンをタップしてください。

USBメモリーへのコピーが開始されます。



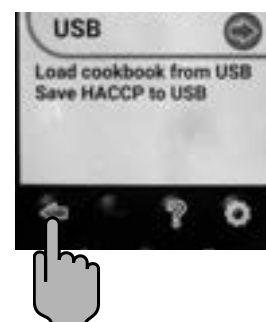
画面に「Cookbook saved to USB」が表示されましたら、調理プログラムのコピーは完了です。

『✔️』アイコンをタップして、完了してください。

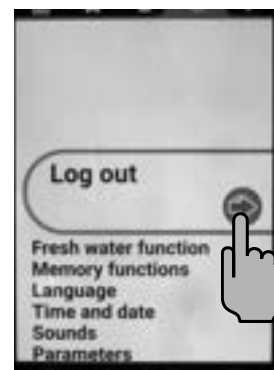


7. ホーム画面に戻ってください

画面左下の『🏠』アイコンをタップして、1つ前の画面に戻ってください。



「Log out」の『🔙』アイコンをタップしてください。
「Log in with code」に切替わり、設定モードが終了されます。



『🏠』アイコンをタップして、ホーム画面に戻ってください。



8. USBポートからUSBメモリーを取り外してください

USBポートにカバーを取り付けてください。

USBメモリーにコピーした調理プログラムを本機にインストールする

ここでは、USBメモリーにコピーした調理プログラムを本機にインストールする方法について説明します。


USBメモリーは、お客様にてご用意ください。

1. 本機にUSBメモリーを差し込んでください

本機の操作パネル部の後面側にあるUSBポートのカバーを外し、USBメモリーを差し込んでください。



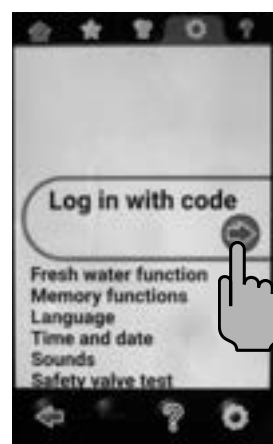
2. 設定モードに入ってください

『』アイコンをタップしてください。
ユーザー設定の画面が表示されます。



3. 「Log in with code」の『』アイコンをタップしてください

「Log on」画面（ログインコード入力の画面）が表示されます。



4. ログインコードを入力して調理プログラムの設定モードに入ってください

ログインコードを入力して、『✔️』アイコンをタップしてください。

工場出荷時のログインコードは、「1234」です。

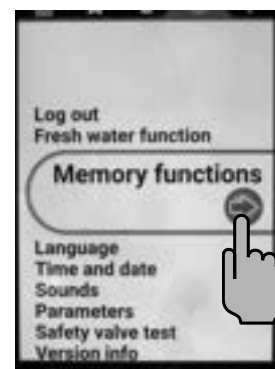
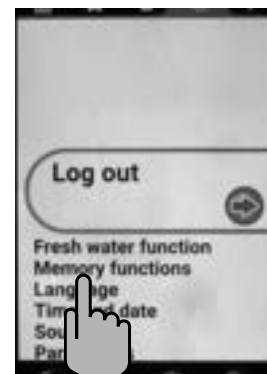
調理プログラムの設定モードに入ったことを表す画面が表示されます。



5. 「Memory functions」に入ってください

「Memory functions」を選択して、『➡️』アイコンをタップしてください。

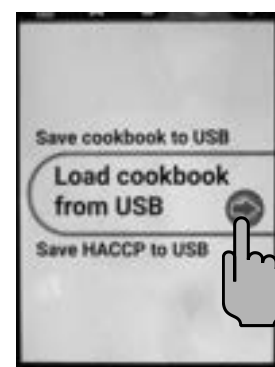
選択画面が表示されます。



6. USBメモリーから本機に調理プログラムをインストールしてください

「Load cookbook from USB」を選択して、『➡️』アイコンをタップしてください。

USBメモリー内に入っている調理プログラムの一覧が表示されます。



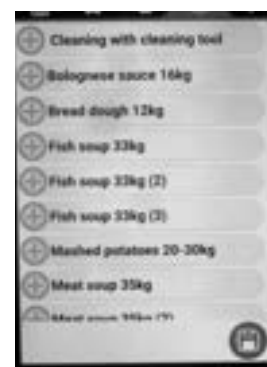
インストールする調理プログラムの、『+』アイコンをタップしてください。

アイコンが緑色に変わります。

調理プログラムは複数選択することができます。

調理プログラムを選択した後、『📁』アイコンをタップしてください。

インストールが開始されます。



画面に「A program was loaded successfully」が表示されましたら、調理プログラムのインストールは完了です。

『✔️』アイコンをタップしてください。



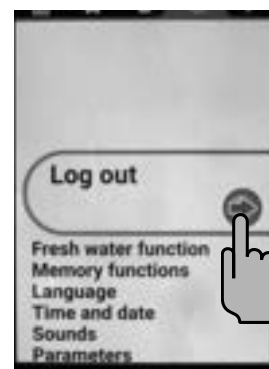
7. ホーム画面に戻ってください

画面左下の『🏠』アイコンをタップして、1つ前の画面に戻ってください。



「Log out」の『🔙』アイコンをタップしてください。

「Log in with code」に切替わり、設定モードが終了されます。



『🏠』アイコンをタップして、ホーム画面に戻ってください。



8. USBポートからUSBメモリーを取り外してください


USBポートにカバーを取り付けてください。

お知らせ音を変更する

お知らせ音は、変更することができます。

ここでは、お知らせ音を変更する方法について説明します。

1. 設定モードに入ってください

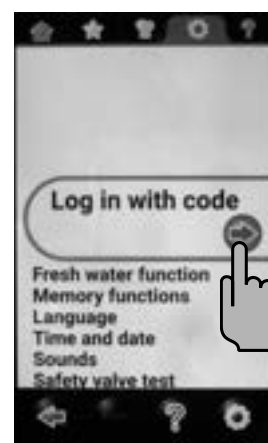
『』アイコンをタップしてください。

ユーザー設定の画面が表示されます。



2. 「Log in with code」の『』アイコンをタップしてください

「Log on」画面（ログインコード入力画面）が表示されます。



3. ログインコードを入力して調理プログラムの設定モードに入ってください

ログインコードを入力して、『』アイコンをタップしてください。

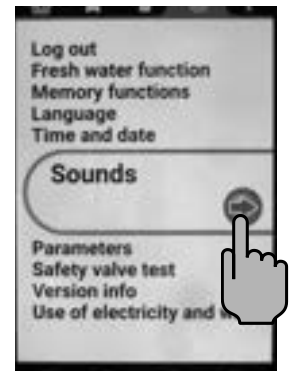
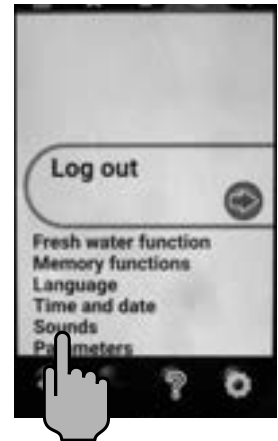
工場出荷時のログインコードは、「1234」です。

調理プログラムの設定モードに入ったことを表す画面が表示されます。



4. 「Sounds」に入ってください

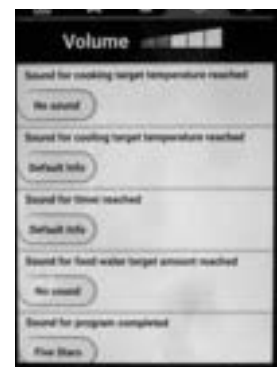
「Sounds」を選択して、『➡』アイコンをタップしてください。
選択画面が表示されます。



5. お知らせ音を変更してください

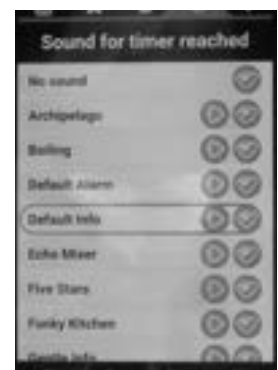
お知らせ音を変更したい項目のアイコン部分をタップしてください。

お知らせ音を選択する画面が表示されます。




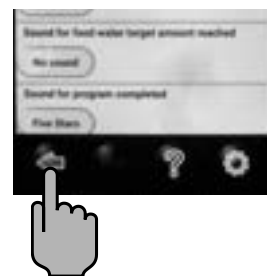
好みのお知らせ音の『✔』アイコンをタップすると、お知らせ音を確定して、1つ前の画面に戻ります。


『▶』アイコンをタップすると、お知らせ音を試聴することができます。

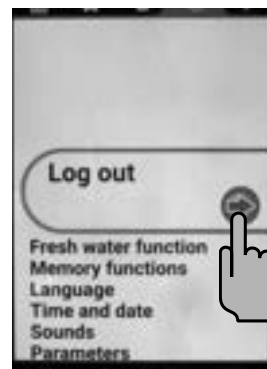



6. ホーム画面に戻ってください

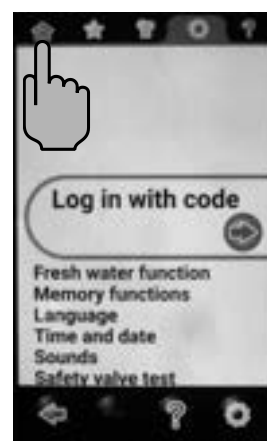
画面左下の『』アイコンをタップして、1つ前の画面に戻ってください。



「Log out」の『』アイコンをタップしてください。
「Log in with code」に切替わり、設定モードが終了されます。



『』アイコンをタップして、ホーム画面に戻ってください。




ログインコードを変更する

ログインコードは、変更することができます。

ここでは、ログインコードを変更する方法について説明します。

1. 設定モードに入ってください

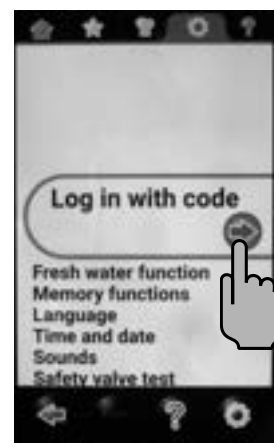
『』アイコンをタップしてください。

ユーザー設定の画面が表示されます。



2. 「Log in with code」の『』アイコンをタップしてください

「Log on」画面（ログインコード入力画面）が表示されます。



3. ログインコードを入力して調理プログラムの設定モードに入ってください

ログインコードを入力して、『』アイコンをタップしてください。

工場出荷時のログインコードは、「1234」です。

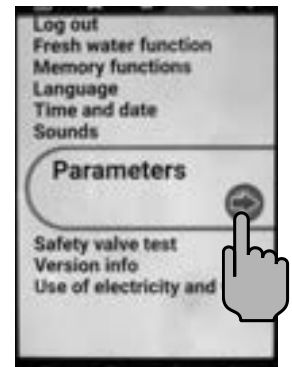
調理プログラムの設定モードに入ったことを表す画面が表示されます。



4. 「Parameters」に入ってください

「Parameters」を選択して、『➡️』アイコンをタップしてください。

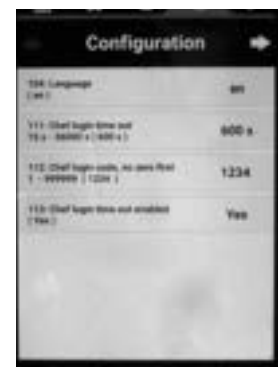
選択画面が表示されます。



5. ログインコードを変更してください

画面「Coffiguration」の「112:Chef login code, no zero first 1 - 999999 (1234)」をタップしてください。

コードの入力画面が表示されます。



新しいコードを入力してください。

コードは、1~999999(1桁~6桁)の範囲の数字が使用できます。

コードの頭に「0」を使用することはできません。

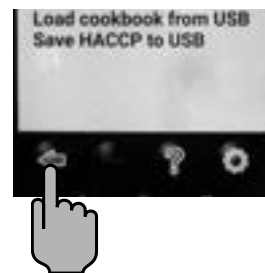


新しいコードが入力できましたら、『✔️』アイコンをタップして確定してください。

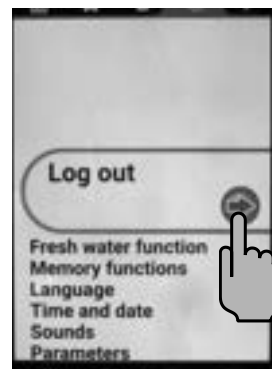
1つ前の画面に戻ります。

6. ホーム画面に戻ってください

画面左下の『←』アイコンをタップして、1つ前の画面に戻ってください。



「Log out」の『←』アイコンをタップしてください。
「Log in with code」に切替わり、設定モードが終了されます。



『🏠』アイコンをタップして、ホーム画面に戻ってください。



点検

毎日の始業時と終業時におこなってください

⚠ 注意



点検のときは、必ずメイン電源スイッチを「OFF（切）」にして、電源プラグを抜く（電源プラグ使用の場合）か、本機専用電源を『OFF(切)』にすること
誤って操作部に触れた場合、ケガの原因になります。
漏電、ショート、感電の原因にもなります。



点検のときは、本機が触ることができる温度まで冷めるのを待つこと
本機が熱い状態で触れた場合、やけどの原因になります。

下記の各項目に従って点検してください。

点検する箇所	処置の方法
排水孔内部が詰まっていますか？	排水孔内部が詰まっている場合は、排水孔内部を清掃してください。

浄水器カートリッジの交換時期

浄水器カートリッジは、定期的に交換してください。

3ヶ月～6ヶ月のご使用を目安（使用するモード、稼働時間、水質により異なります）として、交換してください。

カートリッジのろ過能力が低下すると、庫内に付着するスケールの量が増えます。

スケールの付着が多いと、本機の性能を低下させる原因になります。

カートリッジの交換時期や交換については、お買い上げ店にご相談ください。

故障の診断と手当

故障かなと思ったら

故障かなと思われ修理を依頼する前に、下記の項目を確認してください。

症状が改善されないときや「処置」の欄に「お買上げ店へ連絡してください。」と記載されている場合は、本機のメイン電源スイッチを「OFF(切)」にして水道栓を閉め、本機専用電源も『OFF(切)』にして、早急にお買上げ店へ連絡してください。

ご連絡の場合は、本機の型式名、機番、故障状況（できるだけ詳しく）をお知らせください。

症状	確認 / 原因	処置
本機専用電源を『ON(入)』の状態 で、メイン電源スイッチを 「ON(入)」したとき、操作パ ネルに何も表示されない	停電ではありませんか？	通電するのを待ってください。
	電源コードが正しく接続されてい ますか？	電源コードが正しく接続されてい る場合は、お買上げ店へ連絡して ください。
調理を開始するアイコンをタ ップしても調理を開始しない	安全蓋が開いていませんか？	安全蓋を閉めてください。
	安全蓋の安全スイッチが破損して いる可能性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
加熱の設定をしているが、加熱 がおこなわれない	給水配管は正しく接続されていま すか？	給水配管を正しく接続されてい ない場合は、給水配管を正しく接続し なおしてください。
	水道栓は開いていますか？	水道栓が開いていない場合は、開い てください。
	給水ホースが折れ曲がっていま せんか？	給水ホースの曲がりや修正か、給水 ホースを交換してください。
調理中、スチームジェネレータ の温度が異常に上昇する	—	お買上げ店へ連絡してください。
調理中、自動で安全弁から多量 の蒸気が何度も排出される	ヒーターの温度制御や圧力スイッ チが正常に動作していない可能 性があります。	お買上げ店へ連絡してください。
調理中、操作パネルの表示が消 えた	—	お買上げ店へ連絡してください。
調理中、調理が停止し、操作ス パネルの表示が消えた	停電ではありませんか？	通電するのを待ってください。
	電源コードが正しく接続されてい ますか？	電源コードが正しく接続されてい る場合は、お買上げ店へ連絡して ください。
本機から異常音がする	本機がグラついていませんか？	本機がグラついている場合は、お買 上げ店へ連絡してください。
ケトル内から異常音がする	ミキサーツールの回転に異常はあ りませんか？	ミキサーツールの回転に異常があ る場合は、お買上げ店へ連絡して ください。

症状	確認 / 原因	処置
給水の配管が正しく接続されているのに、本位周辺に水漏れの形跡がある	—	お買上げ店へ連絡してください。
漏電遮断器が切れる	漏電遮断器のレバーの位置が「OFF(切)」になっていませんか？	漏電遮断器が「OFF(切)」に作動した場合には、お買上げ店へ連絡してください。 レバーが「OFF(切)」になっていると漏電している可能性があります。無理にレバーを「ON(入)」にすると、感電や火災の原因になります。
電源コードやプラグ（電源プラグ使用の場合）が異常に熱くなる	—	お買上げ店へ連絡してください。
電源コードを折り曲げると通電したり、しなかったりする	—	お買上げ店へ連絡してください。
モーターの回転が不規則であったり、止まったり、遅かったりする	—	お買上げ店へ連絡してください。

仕様

品名	クッキングケトル [METOS]		
型式	Proveno4G-40E	Proveno4G-80E	Proveno4G-100E
外形寸法	幅 1044・奥行 793・ 高さ 1497mm (蓋開時：奥行 880・ 高さ 1618mm)	幅 1154・奥行 817・ 高さ 1497mm (蓋開時：奥行 1129・ 高さ 1721mm)	幅 1154・奥行 817・ 高さ 1497mm (蓋開時：奥行 1129・ 高さ 1721mm)
電源	三相 200V 50/60Hz		
電流	36A	53A	53A
消費電力	11kW	17kW	17kW
電気容量	12.5kVA	18.4kVA	18.4kVA
ケトル容量	40 L	80 L	100 L
安全装置	過熱防止装置		
温度設定範囲	0~110℃		
材質	ステンレス		
必要水道圧力	0.1~0.74MPa (流水時)		
給水接続口	G1/2		
質量	200kg	230kg	265kg
電源コード	2PNCT 5.5mm ² 4心 長さ 3.0m	2PNCT 14mm ² 4心 長さ 3.0m	2PNCT 14mm ² 4心 長さ 3.0m

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

品名	クッキングケトル [METOS]	
型式	Proveno4G-150E	Proveno4G-200E
外形寸法	幅 1360・奥行 990・高さ 1497mm (蓋開時：奥行 1232・高さ 1933mm)	幅 1360・奥行 990・高さ 1497mm (蓋開時：奥行 1232・高さ 1933mm)
電源	三相 200V 50/60Hz	
電流	83A	109A
消費電力	26.3kW	36.1kW
電気容量	28.8kVA	37.8kVA
ケトル容量	150 L	200 L
安全装置	過熱防止装置	
温度設定範囲	0~110℃	
材質	ステンレス	
必要水道圧力	0.1~0.74MPa (流水時)	
給水接続口	G1/2	
質量	305kg	345kg
電源コード	2PNCT 30mm ² 4心 長さ 3.0m	2PNCT 30mm ² 4心 長さ 3.0m

※上記の仕様は、品質向上のため予告なしに変更されることがありますのでご了承ください。

付属品

ストレーナープレート	1 枚
測定棒	1 本
FMI除菌洗剤 (1kg)	1 本
取扱説明書 (本書)	1 冊
保証書	1 枚

保証書(別添付)について

保証書の内容をよくお読みのうえ、必要事項を必ずご記入ください。

保証書から返信ハガキを切取っていただき、保証書は紛失にご注意され、お客様にて大切に保管してください。

返信ハガキは商品ご購入後、1か月以内にご返信ください。

消耗部品

本商品の消耗部品は以下のものになります。

安全蓋	格子蓋	ステンレス製カバー
ミキサーツール	スクレーパー	測定棒
ストレーナープレート	付属の洗浄剤	—

補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品とは、本商品の性能を維持するために必要な部品です。

弊社では、本商品の補修用性能部品の保有期間は、販売打ち切り後8年とさせていただきます。

株式会社エフ・エム・アイ

東 京：〒106-0041 東京都港区麻布台1丁目11番9号 Tel.03(5561)6521

大 阪：〒538-0044 大阪市鶴見区放出東3丁目11番31号 Tel.06(6969)9393

営 業 所 札 幌：〒003-0002 札幌市白石区東札幌二条5丁目4番1号 Tel.011(813)8651

仙 台：〒983-0039 仙台市宮城野区新田東1丁目15番6号 Tel.022(238)5711

名古屋：〒454-0822 名古屋市中川区四女子町2丁目46番地 Tel.052(361)7891

広 島：〒731-0102 広島市安佐南区川内6丁目43番9号 Tel.082(876)1855

福 岡：〒812-0839 福岡市博多区那珂1丁目30番21号 Tel.092(481)2931

出張所 北 陸：〒921-8027 金沢市神田1丁目23番11号 Tel.076(243)7810

沖 縄：〒901-2214 宜野湾市我如古1丁目54番21号 Tel.098(870)2766

サービス 盛 岡：〒020-0124 盛岡市厨川4丁目14番5号 Tel.019(648)5390

ステーション 四 国：〒768-0012 香川県観音寺市植田町155番地1 Tel.0875(57)5161

鹿児島：〒890-0073 鹿児島市宇宿1丁目15番8号 Tel.099(263)8281

東京修理工場：〒130-0011 東京都墨田区石原4丁目35番7号 Tel.03(5819)1280

ホームページ <http://www.fmi.co.jp/>

202203 PC'